

特 219

193

淨土宗西山  
深草派

宗制宗規宗令

昭和十一年九月

始





特219  
193



宗規  
宗令

浄土宗西山深草派寺務所





## 宗制宗規改正公布沿革

- 大正八年四月三十日 別派獨立許可
- 大正八年四月三十日 宗制宗規制定認可
- 大正十二年八月九日 宗制宗規改正認可
- 大正十五年三月十七日 宗規改正並制定認可
- 昭和三年三月二十九日 宗制宗規改正認可
- 昭和七年四月二十八日 宗制宗規中改正並宗規教會所規則制定認可
- 昭和八年六月十七日 宗規中改正認可
- 昭和十一年六月十日 宗制及宗規中改正並宗規布教講習所規則制定認可



目次

宗制

第一章	教旨	一
第二章	教式	二
第三章	管長	三
第四章	顧問	五
第五章	寺務所	五
第六章	議會	五
第七章	參事會	七
第八章	教務所	七
第九章	僧侶	八

目次

一



第十章	教育	九
第十一章	布教	一〇
第十二章	服制	一一
第十三章	寺院	一一
第十四章	住職	一三
第十五章	檀徒信徒	一四
第十六章	寺有財產	一四
第十七章	會計	一五
第十八章	補則	一五
<b>宗規</b>		
第一	管長候補者選舉規則	一七
第二	顧問規則	二三

第三	寺務所規則	二三
第四	執事長選舉規則	二六
第五	教務所規則	二八
第六	議會規則	三三
第七	參事會規則	三四
第八	議會議員選舉規則	三六
第九	請願規則	四六
第十	僧籍並僧籍編入規則	四七
第十一	法脈傳承規則	五三
第十二	僧階補任規則	五五
第十三	教師檢定試驗規則	六一
第十四	學階授與規則	六四
第十五	教階補任規則	六五



第十六	教育規則	六
第十七	宗學研究所規則	六
第十八	布教講習所規則	七〇
第十九	布教規則	七四
第二十	服制規則	七六
第二十一	寺格昇降規則	八一
第二十二	座次及禮遇規則	八二
第二十三	住職任免規則	八五
第二十四	法類規則	九〇
第二十五	檀信徒取扱規則	九三
第二十六	寺有財產保管規則	九四
第二十七	寺院等級及宗費賦課徵收規則	九七
第二十八	賞典規則	一〇五

第二十九	托鉢免許規則	一〇九
第三十	懲戒規則	一〇九
第三十一	懲戒赦免規則	一一五
第三十二	會計規則	一一七
第三十三	普通教習所規則	一二九
第三十四	寺院住職後任候補者登錄規則	一三〇
第三十五	教會所規則	一三七

宗令

大本山內事部規定	一二九
教區會議員選舉規則	一三〇
寺務所執務規定	一三三
教學講習會規則	一四〇



特殊講習會規則……………一四三

獎學規則……………一四三

功績詮考會規則……………一四四

御忌會出勤規則……………一四四

職員議員俸給旅費支給規則……………一四九

議事細則……………一五二

法類規則實施細則……………一五六

審議會規則……………一五九

# 宗制

## 第一章 教旨

- 第一條 世尊釋迦牟尼佛ノ教ニ依テ至心ニ阿彌陀佛ニ歸命シ五乘齊シク彼ノ願力ニ託シテ報土往生ヲ期ス之レ本派教旨ノ綱要ナリ
- 第二條 佛恩ヲ感荷シ衆生ヲ利益シ現當二世ノ善行ヲ修ス之レ本派教徒ノ遵守スヘキ要旨ナリ
- 第三條 無量壽經(康僧鎧譯) 觀無量壽經(慧良耶舍譯) 阿彌陀經(鳩摩羅什譯)ノ三部經ハ本派所依ノ經典ナリ
- 第四條 通シテハ龍樹等列祖ノ判教ニ依リ別シテハ善導大師ノ釋義ニ從フ之レ本派立教ノ義趣ナリ
- 第五條 彌陀、釋迦、龍樹、天親等ノ列祖ノ次第ニ依リ其統ヲ繼クハ教門ノ相承ナリ又彌陀、善導、源空等寫瓶ヲ傳フルハ證道ノ相承ナリ此ノ二種ノ相承ヲ宗脈ト稱ス之レ本派傳教ノ信印ヲ



表スル要旨ナリ

宗脈ニ續キテ戒脈ヲ相承スルハ是レ佛祖ノ眞譜ニシテ三業ノ行爲ヲ正律スル要旨ナリ

第六條 本派傳統弘通ノ正意ヲ傳フルヲ深草正傳法ト謂フ

第七條 教旨ノ蘊奧ヲ教ヘ西山國師已證ノ秘髓ヲ傳フ之レヲ曼陀羅相承トス此ノ相承ハ信心堅固ノ法器ニアラサレハ傳承ヲ許サ、ル最上乘ノ要法ナリ

### 第二章 教式

第八條 本派寺院ハ彌陀、觀音、勢至ノ三尊高祖、宗祖、派祖ノ尊像並ニ 今上皇帝聖壽萬歲ノ

尊牌ヲ奉安スヘキモノトス但シ從前安置佛ノ定マレルモノハ此ノ限ニ在ラス

第九條 深草正傳法及曼陀羅相承ハ總本山法主親ラ之レヲ授クルモノトス

第十條 宗脈戒脈ノ相承ハ總本山大本山ニ於テ法主之ヲ傳フルモノトス

第十一條 授戒會及五重會ハ一般寺院ニ於テ之ヲ修行スルコトヲ得但シ授戒會導師ハ總本山大本山法主又ハ檀林住職トシ五重會導師ハ曼陀羅相承以上ノ者ニ限ル

第十二條 總テ寺院ニ於ケル恒例其他一切ノ法式ハ列祖先德ノ遺範ニ憑ルモノトス

### 第三章 管長

第十三條 管長ハ管長候補者タル者主務大臣ノ認可ヲ得テ就任ス但シ任期ヲ七年トス

管長缺職シ管長候補者アラサルトキハ執事長ヲ管長事務取扱トシ主務大臣ノ認可ヲ得テ就任ス

管長候補者選舉ニ關スル規則ハ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 管長ハ宗制宗規ニ依リ一派ヲ統理ス

第十五條 管長ハ議會ヲ召集シ其閉會閉會停會及解散ヲ命ス

第十六條 管長ハ議會ノ決議ヲ允可シ其實施ヲ命ス

第十七條 管長ハ議會ノ決議ニシテ本派ノ公益ニ害アリト認ムルトキハ理由ヲ示シテ再議ニ附スルコトヲ得

第十八條 管長ハ議會ノ協贊ヲ經テ宗制宗規ヲ制定又ハ變更シ主務大臣ノ認可ヲ得テ之ヲ施行ス但シ法令又ハ監督官廳ノ處分ニ依リ又ハ宗務執行ノ緊急必要ニ依リ議會ノ協贊ヲ經ル暇ナキトキ



ハ管長ハ參事會ノ協贊ヲ經直ニ主務大臣ノ認可ヲ得テ之ヲ定メ次期議會ノ協贊ヲ經ルヲ要ス次期議會ノ協贊ヲ得サルトキハ主務大臣ノ認可ヲ得テ其效力ヲ失ハシムルモノトス

第十九條 管長ハ宗制宗規ヲ施行スル爲又ハ派内ノ秩序ヲ保持スル爲必要ノ宗令告示ヲ發ス但シ宗制宗規ニ違反スルコトヲ得ス

第二十條 管長ハ宗規ニ依リ派内一般末刹及僧侶ヨリ宗費並ニ諸賦課金ヲ徵收ス

第二十一條 管長ハ宗規ニ依リ教師住職其ノ他派内職員ヲ任免ス

第二十二條 管長ハ宗規ニ依リ一派僧侶及檀信徒ニ對シ褒賞ヲ行フ

第二十三條 管長ハ宗規ニ依リ一派僧侶ヲ懲戒ス

第二十四條 管長ハ宗規ニ依リ懲戒處分ヲ受ケタル一派僧侶ニ對シ特免減戒又ハ僧侶分限ノ復得ヲ命ス

第二十五條 管長ハ宗規ニ依リ一派ノ教學ヲ統管ス

第二十六條 管長ハ宗規ニ依リ一派僧侶ニ對シ僧階學階及教階ノ補任ヲ行フ

第二十七條 管長ハ僧侶ノ出願ニ依リ托鉢免許證ヲ附與ス

第二十八條 管長ハ宗規ニ依リ寺院僧侶及檀信徒間ニ於ケル爭議ヲ裁決ス

#### 第四章 顧問

第二十九條 顧問ハ一派重要ノ事項及財務ニ關シ管長ノ諮詢ニ應シ意見ヲ答申スルモノトス

第三十條 顧問ニ關スル規則ハ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

#### 第五章 寺務所

第三十一條 總本山ニ寺務所ヲ置キ管長ノ宗務ヲ總理スル所トス

第三十二條 寺務所規則及職員ニ關スル事項ハ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

#### 第六章 議會

第三十三條 本派議會ハ宗規ヲ以テ定ムル所ノ議員選舉規則ニ依リ選出シタル議員ヲ以テ組織ス

第三十四條 議會ハ二年毎ニ管長之ヲ召集ス但シ緊急必要ノ場合ニハ臨時召集スルコトアルヘシ



第三十五條 議會解散ヲ命セラレタルトキハ宗令ヲ以テ新ニ議員ヲ選舉セシメ解散ノ日ヨリ六月以  
内ニ之ヲ召集ス

第三十六條 議會ノ會期ハ管長之ヲ定ム

第三十七條 宗制宗規ノ制定變更ハ議會ノ協贊ヲ經ルヲ要ス

第三十八條 收支豫算ハ議會ノ協贊ヲ經ルヲ要ス

第三十九條 議會ノ議案ハ寺務所ヨリ提出ス又議會ハ議員三名以上ノ同意アルトキハ自ラ議案ヲ提  
出スルコトヲ得

第四十條 議會ハ議員定數ノ三分ノ二以上出席スルニアラサレハ議事ヲ開キ議決スルコトヲ得ス

第四十一條 議會ノ議事ハ出席議員ノ過半數ヲ以テ決ス可非同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第四十二條 寺務所職員ハ何時タリトモ議會ニ出席シ發言スルコトヲ得但シ決議ノ數ニ加ハルコト  
ヲ得ス

第四十三條 議會ハ議員ノ互選ヲ以テ參事會員及補充員ヲ選舉スヘシ

第四十四條 議員ノ任期ハ四年トス

第四十五條 議會ハ本派僧侶ノ請願ヲ受理スルコトヲ得

第四十六條 前諸條ノ外議會及議員選舉ニ關スル規則ハ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

### 第七章 參事會

第四十七條 參事會ハ議會ニ於テ選舉シタル參事會員ヲ以テ組織シ左ノ事項ヲ決議スルモノトス

一、年度豫算總額十分ノ一以内ノ臨時賦課

一、總本山寺務所ノ歲計決算ノ検査

一、議會ノ決議シタル歲計總豫算各部ノ範圍ニ於ケル項目ノ互融

一、前諸項ノ外宗制宗規ニ明記シアル事項

第四十八條 參事會ニ關スル規則ハ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

### 第八章 教務所

第四十九條 各地方ヲ分割シテ教區トシ教務所ヲ置キ寺務所ノ指揮ニ從ヒ該區内ニ於ケル宗務ヲ取



扱フ所トス

第五十條 教務所ニ關スル規則ハ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

### 第九章 僧侶

第五十一條 本派ノ教師ニ就キ得度ヲ終ヘ僧籍編入ノ許可ヲ得タル者ヲ僧侶トス

第五十二條 僧侶ハ終身教義ノ宣布ニ從事スルヲ本分トス

第五十三條 僧侶ハ宗制宗規ヲ遵守シ管長ノ命令ニ服従スヘキモノトス

僧侶ハ宗規ノ定ムル所ニ依リ寺務所及議會ニ請願スルコトヲ得

第五十四條 本派僧侶ノ稱號ヲ左ノ七種トス

資格	大僧正	權少僧正	准擬講	轉衣以上	法脈傳承者	結緣加行者	僧籍編入者
稱號	大和尚	老和尚	和	和尚	長老	西堂	准西堂
						沙彌	

第五十五條 本派僧侶ヲ分テ教師及非教師ノ二種トシ准擬講以上ヲ教師擬講補ヲ教師補ト稱ス

等級	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級	十三級	十四級	十五級
僧階	大僧正	權大僧正	中僧正	權中僧正	少僧正	權少僧正	大僧都	權大僧都	中僧都	權中僧都	少僧都	權少僧都	少擬講	准擬講	擬講補

第五十六條 管長ハ學德練達ノ僧侶ニ學階ヲ授與ス其階級及稱號ヲ定ムルコト左ノ如シ

階級	一級	二級	三級
稱號	勸學	已講	得業

第五十七條 管長ハ布教ニ練達セル僧侶ニ教階ヲ授ク其ノ等級及稱號ヲ定ムルコト左ノ如シ

等級	一級	二級	三級	一級	二級
稱號	布教	教師	布教師	補	

第五十八條 前諸條ノ外僧籍並僧籍編入、法脈傳承、僧階補任、教師檢定及學階教階座次ニ關スル規則ハ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

### 第十章 教育



第五十九條 本派ノ教育ハ祖承ノ宗義ヲ體認シ自利利他ノ本分ヲ盡スニ必要ナル學術ヲ修習セシムルヲ以テ目的トス

第六十條 本派僧侶ノ宗學教育ハ宗學研究所布教講習所普通教習所及各種講習會ニ於テ修習セシム

其ノ他僧侶ニ必要ナル一般教育ハ各地方中學校專門學校大學等學生志望ノ學校ヘ入學修業セシム

第六十一條 前二條ニ關スル規則ハ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

### 第十一章 布教

第六十二條 布教ハ列祖ノ洪範ニ則リ本派ノ教旨ヲ宣布シ信徒並ニ公衆ノ信仰ヲ扶殖涵養スルヲ本旨トス

第六十三條 管長親教其ノ他布教ニ關スル事項ハ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

第六十四條 教會其ノ他團體ニ關スル取締規定ハ宗令ヲ以テ之ヲ定ム

### 第十二章 服制

第六十五條 僧侶ノ着用スヘキ法服ノ種類ヲ定ムルコト左ノ如シ

一、袈裟 大衣(廿五條十條) 七條 五條(威儀大師折五條)ノ三種

二、衣 直綴、素絹ノ二種

三、法冠 水冠、始皇、燕尾ノ三種

四、領帽

五、座具

六、袴 差貫、切袴ノ二種

第六十六條 法服着用ノ制限及色章ノ區別ハ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

### 第十三章 寺院

第六十七條 寺院ハ教旨ヲ宣布シ法要ヲ勤修スル所トス



- 第六十八條 本派寺院ハ濫ニ轉宗轉派又ハ分派スルコトヲ許サス
- 第六十九條 本派寺院ノ寺格ヲ總本山、大本山、檀林、檀林格地、准檀林、准檀林格地、斑金格地、香衣地、西堂地、平僧地トス
- 第七十條 總本山ハ本派寺院ノ元首ニシテ大本山ヲ除キタル其ノ他ノ寺院ヲ一般末刹トス
- 第七十一條 京都誓願寺ヲ總本山トス
- 第七十二條 三河國圓福寺ヲ大本山トシ總本山ノ所管トス
- 第七十三條 深草眞宗院ノ御本廟ハ本派寺務所ニ於テ之ヲ管理シ護持スルモノトス
- 第七十四條 檀林ハ從來定マレルモノ、外之ヲ許サス
- 第七十五條 相當ノ由緒又ハ資格アル寺院ニシテ檀林格地若ハ准檀林ニ出願昇格セントスルトキハ議會ノ協賛ヲ經テ管長之ヲ許可ス檀林格地若ハ准檀林カ出願降格セントスルトキモ亦同シ
- 第七十六條 末刹寺院ニシテ末寺ヲ有スルモノヲ本寺ト稱セシム
- 第七十七條 本寺末寺ノ契約其他寺院甲乙間ニ於ケル慣例ハ本制及宗規ニ牴觸セサルモノニ限り之ヲ存ス

第七十八條 寺格昇降ニ關スル規則ハ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

### 第十四章 住 職

- 第七十九條 總本山住職ハ任式ヲ用ヒスシテ管長在職中之ニ當ル
- 第八十條 總本山住職ハ法主ト稱ス
- 第八十一條 大本山住職ハ管長候補者之ニ當リ法主ト稱ス  
管長候補者ニシテ管長ニ就職シ能ハサルトキハ大本山住職ハ失職スルモノトス
- 第八十二條 檀林、檀林格地、准檀林ノ住職選舉規則ハ宗規ヲ以テ定ム
- 第八十三條 准檀林格地以下一般寺院住職ノ任免規則ハ宗規ヲ以テ定ム
- 第八十四條 寺院住職ハ一切ノ寺務ヲ擔當シ其ノ責ニ任シ令法久住ノ目的ヲ以テ徒弟ヲ教養スヘシ
- 第八十五條 寺院住職ハ懲戒ニ依ルニアラサレハ其意ニ反シテ職ヲ免セラル、コトナシ
- 第八十六條 法類ニ關スル事項ハ宗規ヲ以テ之ヲ定ム



### 第十五章 檀徒信徒

第八十七條 本派ノ教旨ヲ信奉シ本派寺院ノ檀徒トナリ葬儀法要ヲ依託シ其寺院永續維持ノ義務ヲ負擔スルモノヲ檀徒トス

第八十八條 他宗派及本派他寺ノ檀徒ニシテ本派ノ教旨ヲ信奉シ本派寺院ノ永續維持ヲ輔佐スル者ヲ信徒トス

第八十九條 檀徒及信徒ハ常ニ總本山及祖廟保護ノ念ニ住シ法主ノ教示ニ信順スヘキモノトス

第九十條 前諸條ノ外檀徒信徒ニ關スル規則ハ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

### 第十六章 寺有財産

第九十一條 佛像經卷古文書寶物什器地所建物有價證券蓄積資金等總テ寺院ノ所有スル者ヲ寺有財産トス

第九十二條 寺有財産ハ任職之ヲ管理ス

第九十三條 寺有財産ヨリ生スル收益ハ三寶護持ノ目的以外ニ消費スルコトヲ得ス

第九十四條 寺有財産管理及處分ニ關スル規則ハ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

### 第十七章 會計

第九十五條 宗費ノ收入支出ハ豫算ニ依ル

第九十六條 宗費ハ一般末利及僧侶ノ負擔トス但シ大本山圓福寺ニハ宗費ヲ賦課セス

第九十七條 寺院等級規則宗費其ノ他ノ賦課金徵收ノ方法及會計規則ハ宗規ヲ以テ之ヲ定ム

### 第十八章 補則

第九十八條 従前ノ規定ニ依リ定リタル本派寺院ノ寺格等級任職及僧侶ノ分限資格ニ關シテハ新ナル規定ニ依リ定メラレタルモノト看做ス

第九十九條 教學ノ聯絡ヲ圖ル爲毎年一回本宗西山各派ノ管長會議ヲ開ク

第一百條 將來本宗制ノ改正變更ヲ要スルトキハ管長ノ發議ニ依リ議會議員四分ノ三以上ノ同意ヲ得



宗規

宗制 補則

ルヲ要ス

第百一條 第八十二條改正ノ際ニ限り現ニ眞宗院法務代理タル者ハ選舉ニ依ラスシテ其住職ニ特任ス



# 宗規

## 第一 管長候補者選舉規則

第一條 宗制第三章第十三條ニ依リ本規則ヲ定ム

第二條 管長候補者ノ選舉ハ投票ニ依リ寺務所ヲ以テ選舉場トシ執事長ヲ選舉長トス

第三條 選舉人ハ派内寺院ノ正住職並ニ總本山信徒總代及大本山檀信徒總代トス

第四條 被選舉人ハ左記各項ノ一ニ該當スル者タルコトヲ要ス

一、本宗西山各派檀林住職

二、本宗西山各派少僧正以上ノ者

三、本宗西山各派學階勸學ノ稱號ヲ有スル者

第五條 左記各項ノ一ニ該當スル者ハ選舉人被選舉人タルコトヲ得ス

一、懲戒規則ニ依リ降等以上ノ處分ヲ受ケ特免セラレサル者又ハ停權中ノ者



二、破産ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者

第六條 管長候補者缺員シタルトキハ寺務所ハ缺員ノ日ヨリ六十日以内ニ選舉期日ヲ定メ其ノ期日ヨリ二十日以前ニ派内ニ告示スヘシ

前項告示ノ際ハ選舉告示當日現在ノ選舉人被選舉人名ヲ告示スヘシ

第七條 前條ノ告示アリタルトキハ選舉人ハ第十條第一號書式ニ依リ投票ヲ作り第十條第二號書式ニ依リ之ヲ嚴封シ選舉期日ノ前日午後四時迄ニ各自寺務所ニ持參スヘシ其ノ時限經過シタルモノハ受理セス

投票ハ書留郵便ヲ以テ差出スコトヲ得此ノ場合ハ第十條第二號書式ニ依リ投票ヲ嚴封シタル上第十條第三號書式ニ依リ之ヲ差出スヘシ但シ前項ノ期限ヲ過キ到着シタル投票ハ無効トス

第八條 前條ノ投票ハ寺務所ニ於テ各受付ノ日時ヲ帳簿ニ記載シ嚴封ノマ、投函シ確實ニ保管スヘキモノトス

第九條 第七條ニ依リ一旦投票シタル後ハ其變更ヲ爲スコトヲ得ス

第十條 投票書式ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一號書式 (用紙)

第 第	第 第
教 教	區 區
第 第	第 第
號 號	號 號
何僧正 何 誰 殿	
(學階)	
右管長候補者ニ選舉ス	
第〇教區〇〇寺住職 何 誰	
主任印	

第二號書式 (封筒)

第 第	第 第
教 教	區 區
第 第	第 第
號 號	號 號
表 管長候補者投票	
裏	
第〇教區〇〇寺住職	
何 誰	



第三號書式 (封筒)

京都市下京區新京極 總本山誓願寺 淨土宗西山深草派寺務所 選舉長 何 誰 殿 【投票在中】	所在地寺名 何 誰
---	--------------

第十一條 投票用紙及前條第二號書式ノ封筒ハ選舉告示ト同時ニ寺務所ヨリ選舉人ノ住所ニ書留郵便ヲ以テ配付ス

第十二條 投票ノ開絨ハ選舉期日ノ午前十時之ヲ開始ス

第十三條 投票ノ開絨審査ハ選舉長寺務所執事並ニ管長ノ指定シタル立會人四名立會ノ上之ヲ行フ立會人ノ内二名ハ總本山信徒總代中ヨリ指定スルモノトス

第十四條 選舉人ハ選舉場ヲ參觀スルコトヲ得ト雖會場ノ秩序ヲ亂ス行爲或ハ言論ヲ爲シタル時ハ制止又ハ退場ヲ命ス

第十五條 左ノ一ニ該當スル投票ハ無効トス

- 一、配付用紙ヲ用ヒサルモノ
- 二、被選舉人ニ非サル者ヲ選舉シタル投票
- 三、選舉權無キ者ノ投票
- 四、選舉人ノ署名捺印無キモノ
- 五、選舉人若ハ被選舉人ノ姓名ヲ認知シ難キモノ
- 六、自選ヲ爲シタルモノ
- 七、選舉人被選舉人二名以上連署ノモノ

第十六條 投票效力ノ疑義ニ關スル事項ハ立會人ノ意見ヲ徵シ選舉長之ヲ決ス

第十七條 投票ノ最多數得點者ヲ當選人トス得點同數ナル時ハ座次ノ高キヲ取り座次同シキトキハ年長ヲ取ル

當選人ハ凡テ有權者總數ノ四分ノ一以上ノ得票アルヲ要ス

第十八條 選舉長ハ當選人定リタルトキハ直ニ本人ニ通知スヘシ當選人其ノ通知ヲ受ケタルトキハ



一週間内ニ諾否ヲ選舉長ニ申出ツヘシ若期間内ニ諾否ヲ申出サルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第十九條 當選人其ノ當選ヲ辭シタルトキハ次點者ヲ以テ當選人トシ選舉長ハ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十條 當選人ヲ得サルトキ又ハ次點者當選ヲ辭シタルトキハ再選舉ヲ行フモノトス

第二十一條 當選人確定シタルトキハ管長ヨリ當選狀ヲ交付ス

第二十二條 選舉長ハ選舉ノ顛末ヲ記載シタル選舉錄ヲ調製シ立會人ト共ニ署名捺印スヘシ但シ投票ハ一年間保存スルモノトス

第二十三條 寺務所ハ投票開緘ノ結果ヲ派内ニ告示スルモノトス

告示ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一、有権者總數、選舉人ノ總數、棄權者ノ總數

二、投票ノ數

三、有效無效ノ各投票數

四、當選者人名

五、被選舉人各自ノ得タル投票數

## 第二 顧問規則

第一條 宗制第四章第三十條ニ依リ本規則ヲ定ム

第二條 顧問ハ德望アリ事理ニ通達ノ者ニ就キ管長ヨリ三名ヲ特選シ任期ハ三年トス

第三條 顧問ハ宗制宗規ノ改正其ノ他一派重要事項及財務ニ關シ管長ノ諮詢ニ應ス

第四條 顧問ハ宗務職員及議會議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第五條 顧問ハ議會ニ出席シ意見ヲ發表スルコトヲ得

## 第三 寺務所規則

第一條 宗制第五章第三十二條ニ依リ本規則ヲ定ム

第二條 寺務所ニ左ノ職員ヲ置ク



- 一、執事長 一名
  - 二、執事 二名
  - 三、財務參與 一名
  - 四、社會課主事 一名
  - 五、錄事 一名
  - 六、書記 若干名
- 第三條 執事長ハ執事長選舉規則ニ依リ選舉セラレタル者ニ就キ管長之ヲ任命ス
- 第四條 本派寺院住職ハ執事長ニ選舉セラル、コトヲ得
- 第五條 執事ハ左ノ區分ニ基キ執事長ノ推薦ニ依リ管長之ヲ任免ス
- 第一教區寺院住職中ヨリ 一名
  - 第二教區乃至第十二教區寺院住職中ヨリ 一名
- 第六條 財務參與ハ本派信徒ノ中ニ就キ管長之ヲ選任シ社會課主事及錄事ハ執事長ノ推薦ニ依リ之ヲ任免シ書記ハ執事長之ヲ任免ス
- 第七條 寺務所職員ノ任期中事故ニ依リ缺職トナリタルトキハ執事長補充員ニ就キ管長之ヲ任命スニ在ルヘシ
- 第八條 執事長其ノ任期中事故ニ依リ缺職トナリタルトキハ執事長補充員ニ就キ管長之ヲ任命ス

但シ執事長補充員ヲ缺キ止ムヲ得サル場合ハ管長ハ後任執事長任命ニ至ル迄執事長事務取扱ヲ特命スルコトヲ得

繼任者ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第九條 執事長ハ管長ヲ補佐シ命ヲ稟ケテ百般ノ宗務ヲ總理シ其責ニ任ス  
執事ハ執事長ノ命ヲ稟ケテ各所管事務ヲ分掌ス

財務參與ハ總本山基本金及其ノ他寺務所一切ノ會計事務ニ參與シ執事長ト共ニ保管ノ責ニ任ス  
社會課主事ハ上長ノ命ヲ受ケテ社會ノ感化救済ニ關スル事務ヲ處理スルモノトス  
錄事ハ上長ノ命ヲ受ケテ内事及法務執行ニ關スル諸般ノ事務ヲ處理スルモノトス  
書記ハ上長ノ命ヲ受ケテ事務ニ從事ス

第十條 執事長事故アルトキハ上席執事之ヲ代理ス

第十一條 執事長ハ宗令ノ定ムル所ニ從ヒ管長ニ稟啓シ其ノ裁決ヲ經テ諸般ノ事務ヲ處理ス

第十二條 寺務出張所ヲ東京ニ置キ諸官署ニ對スル一切ノ事務ヲ掌理セシム

第十三條 本則施行ノ必要ノ規定ハ宗令ヲ以テ之ヲ定ム



第十四條 改正規則第三條ニ依リ執事長ヲ任命スルニ至ルマテハ管長ハ同條ニ拘ハラス執事長ヲ特命スルコトヲ得

#### 第四 執事長選舉規則

- 第一條 宗制第五章第三十二條ニ依リ本規則ヲ定ム
- 第二條 執事長候補者ハ第一候補第二候補ノ二名トス
- 第三條 執事長第二候補當選者ヲ以テ補充員トス
- 第四條 執事長候補者ハ男僧教師中ニ就キ議會ニ於テ議會議員之ヲ選舉ス
- 第五條 左記各項ノ一ニ該當スルモノハ被選舉人タルコトヲ得ス
  - 一、大本山法主
  - 二、二期引續キ執事長ニ就任シ現ニ其ノ職ニ在ル者
  - 三、議會ノ議長
  - 四、懲戒規則ニ依リ降等以上ノ處分ヲ受ケ特免セラレサル者又ハ停權中ノ者

第六條 選舉ハ投票ヲ以テ之ヲ行ヒ單記無記名トシ第一候補者決シタル後更ニ第二候補者ノ選舉ヲナスモノトス

第七條 投票ノ開封審査ハ議長之ヲ掌リ議長ノ指定シタル議會議員二名立會ノ上之ヲ行フヘシ

第八條 投票效力ノ疑義ニ關スル事項ハ議會ノ決議ヲ以テ之ヲ決ス

第九條 有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ當選人トス得點同數ナルトキハ座次ノ高キヲ取り座次同シキトキハ年長ヲ取ル

第十條 第一候補者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ第二候補者ヲ當選人トス

第十一條 議長ハ投票開封ヲ終リタルトキハ左ノ事項ヲ記載シ寺務所ニ報告スヘシ

- 一、出席議員並ニ投票總數
- 二、有效投票數及無效投票數
- 三、被選人各自ノ得タル投票數
- 四、當選人氏名

第十二條 寺務所ハ前條報告ヲ受理シ之ヲ派内ニ告示スヘシ



### 第五 教務所規則

第一條 宗制第八章第五十條ニ依リ本規則ヲ定ム

第二條 教區區域ヲ左ノ如ク定ム

總本山大本山ハ教區ニ攝屬セス

第一教區 京都府 大阪府 滋賀縣 奈良縣

第二教區 兵庫縣 德島縣 廣島縣

第三教區 愛知縣尾張國

第四教區 愛知縣東加茂郡西加茂郡

第五教區 東京府 愛知縣岡崎市額田郡(藤川、龍谷、山中、本宿ノ四ヶ村ヲ除ク)

第六教區 愛知縣額田郡藤川村龍谷村本宿村山中村

愛知縣寶飯郡長澤村赤坂町御油町大塚村

第七教區 愛知縣寶飯郡蒲郡町三谷町

第八教區 愛知縣幡豆郡幡豆村

愛知縣寶飯郡形原村塩津村西浦村

第九教區 愛知縣幡豆郡横須賀村吉田村

第十教區 愛知縣幡豆郡福地村平坂村西尾町

第十一教區 愛知縣幡豆郡一色村寺津村佐久嶋村

第十二教區 愛知縣幡豆郡三和村室場村碧海郡

第三條 教區ニ教務所ヲ置ク

第四條 教務所ハ寺務所ノ監督ヲ受ケ宗制宗規及宗令ノ範圍内ニ於テ其ノ教區ニ屬スル事務ヲ處理ス

第五條 教務所ニ教區長一名ヲ置ク

教區長ハ選舉ニ依リ管長之ヲ任命ス選舉ハ教區會議員選舉規則ヲ準用ス

第六條 教區長ノ任期ハ四年トス但シ任期滿限ニ達スルモ後任者ノ任命セラル、マテハ仍其ノ職ニアルヘシ



死亡若ハ其ノ他ノ事故ニ由リ缺職トナリタルトキハ後任者選任ニ至ルマテ管長ニ於テ臨時事務取扱ヲ特任スルモノトス

第七條 教區長ハ教區ヲ統轄シ區内ノ和合ヲ保持スルニ力メ地方自治ノ發達ヲ期スヘシ

第八條 教區長ノ管掌スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一、法式法服及座次ノ監正ニ關スル事項
  - 二、諸願伺届ノ査閲及進達ニ關スル事項
  - 三、公文書類ノ傳達ニ關スル事項
  - 四、區内寺院佛堂ノ財産住職僧侶ノ異動並其ノ功過ニ關スル事項
  - 五、課金義財等ノ徵收ニ關スル事項
  - 六、地方ノ改善及感化救済ニ關スル事項
  - 七、教區ノ豫算及決算ニ關スル事項
  - 八、前各項ノ外宗規宗令又ハ寺務所ノ命令ニ依リ教區長ノ職務ニ屬スヘキ事項
- 第九條 教區長ハ區内ニ對シ教區費ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第十條 教區教務所費及俸給手當ハ教區豫算ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 教區ニ教區會ヲ置ク地方ノ狀況ニ依リ其ノ教區ノ決議ヲ以テ教區會ニ代ルヘキ便宜ノ方  
法ヲ寺務所ノ承認ヲ經テ之ヲ定ムルコトヲ得

第十二條 教區會ハ教區會議員選舉規則ニ依リ選出セラレタル議員ヲ以テ組織ス  
教區會議員選舉規則ハ宗令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條 教區會ハ通常會及臨時會トシ其ノ會期日數ハ教區長之ヲ定ム

通常會ハ毎年一回開會シ臨時會ハ教區長ニ於テ必要アリト認メタルトキ之ヲ召集開會ス

第十四條 教區會ノ議長及副議長ハ教區會ニ於テ之ヲ選舉ス

第十五條 教區會ノ決議スヘキ事項左ノ如シ

- 一、教區費ヲ以テ支辨スヘキ事業
- 二、教區費ノ豫算及賦課方法
- 三、前各項ノ外宗規宗令又ハ寺務所ノ命令ニ依リ教區會ノ決議ヲ經ヘキ事項

第十六條 教區會ノ決議ハ凡テ寺務所ノ承認ヲ受クヘシ



- 第十七條 前各條ノ外教區會ニ關シテハ議會規則ノ規定ヲ準用ス
- 第十八條 教區教務所ニ要スル經費ハ總テ其ノ管内寺院ノ負擔トス
- 第十九條 教區ノ會計ハ豫算ニヨル
- 豫算超過及豫算外ノ支出ハ次ノ教區會ニ提出シ承認ヲ求ムルヲ要ス
- 第二十條 教區ノ會計並ニ教區費ノ賦課徵收ニ關シテハ會計規則及宗費賦課徵集規則ノ規定ヲ準用ス
- 第二十一條 教區ノ會計決算ハ毎年會計年度ノ終ヨリ二ヶ月以内ニ寺務所並ニ教區内一般ニ報告ス
- ヘシ

## 第六 議會規則

- 第一條 宗制第六章第四十六條ニ依リ本規則ヲ定ム
- 第二條 議會ハ管長ニ於テ豫メ開會ノ期日ヲ定メ議員ヲ召集ス
- 第三條 議會ニ議長一名副議長一名書記若干名ヲ置ク

第四條 議長副議長ハ議員ノ互選ニ依リ管長之ヲ任命ス書記ハ議長之ヲ任免ス

第五條 議長副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル

第六條 議長ハ議事ヲ整理シ議會ヲ代表ス

副議長ハ議長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理ス

議長副議長共ニ事故アルトキハ出席議員ノ年長者ヲ以テ假議長トシ議長ノ職務ヲ行ハシム  
書記ハ記事ヲ掌リ兼テ庶務ニ從事ス

第七條 議會ハ議事整理ニ必要ナル細則ヲ定メ管長ノ認可ヲ受クヘシ

第八條 議會ノ議事ハ寺務所ノ提出シタル議案ヲ他ノ議案ニ先タチテ議スヘシ但シ寺務所ノ承諾ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條 議會ハ議長ノ指名又ハ議員ノ互選ヲ以テ委員ヲ設ケ寺務所提出案及建議請願等ノ議案ヲ審查セシムルコトヲ得

第十條 議會ニ於テ選舉スル參事會員ハ正員四名補充員四名トシ投票ハ連記無記名トス  
投票ノ開緘等ニ關シテハ執事長選舉規則ヲ準用ス



- 第十一條 議會ハ議員ノ互選ヲ以テ決算審査委員三名ヲ選定シ歲計決算ヲ審査セシム
- 第十二條 議會ノ議決シタル事項ハ議長ヨリ執事長ヲ經テ管長ニ稟申スヘシ管長之ヲ允可シタルトキハ相當手續ヲ經テ派内ニ公布ス
- 第十三條 議會ハ派内僧侶ノ傍聽ヲ許ス但シ寺務所ノ請求アルトキ又ハ議會ニ於テ決議シタルトキハ之ヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得
- 第十四條 議員正當ノ理由無クシテ召集ニ應セス若ハ參會セサル者ハ議會ニ於テ之ヲ審査シ退職者ト決スルコトヲ得
- 第十二條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
- 第十五條 議事ヲ妨クル行爲アル者ハ議長之ヲ制止シ尙用ヒサル者ハ退場セシム
- 第十六條 議員ノ旅費日當滞在費支給規定ハ宗令ヲ以テ之ヲ定ム

## 第七 參事會規則

- 第一條 宗制第七章第四十八條ニ依リ本規則ヲ定ム

- 第二條 參事會員ノ正員ノ缺ケタル場合ハ補充員ニ就キ之ヲ補缺スルモノトス其ノ順序ハ投票數ニ依リ投票同數ナルトキハ座次ノ高キヲ取り座次同シキトキハ年長者ヲ取ル
- 補缺員ハ前任者ノ殘任期間在任ス

- 第三條 參事會ニハ正員ノ互選シタル會長一名ヲ置ク

參事會長ハ開會中議長トナリ議事ヲ整理シ參事會ヲ代表ス

- 第四條 參事會員ノ任期ハ議員ノ任期ニ同シ議會解散ノ場合ハ當然其ノ職ヲ失フモノトス

- 第五條 參事會ノ召集開會閉會ハ管長ノ旨ヲ承ケテ執事長之ヲ行フ

- 第六條 參事會ハ參事會員三名以上出席スルニアラサレハ開會スルコトヲ得ス

- 第七條 參事會ハ毎年一回之ヲ召集ス但シ臨時緊急ノ必要アル場合ハ臨時召集スルコトアルヘシ

- 第八條 參事會ノ議事ニ關スル事項ハ總テ議會ノ規定ヲ準用ス

- 第九條 參事會員ハ必要アル場合ニハ寺務所ノ帳簿及本山基本金其ノ他物件ノ檢閲ヲ請求シ調査スルコトヲ得

- 第十條 管長ハ參事會閉會中其ノ議決ヲ經ヘキ臨時ノ事件生シタルトキハ文書ヲ以テ意見ヲ徵シ參



事會員四分ノ三以上ノ同意ヲ得タルトキハ之ヲ參事會議決ト見做スコトヲ得  
第十一條 參事會ノ決議ハ管長ノ允可ヲ要ス其ノ議決事項ノ要領ヲ議會ニ報告スヘシ

### 第八 議會議員選舉規則

第一條 宗制第六章第四十六條ニ依リ本規則ヲ定ム

#### 第一章 選舉區

第二條 本派議會議員ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉シ十四名ヲ以テ定員トス

第三條 議員ハ左ノ區分ニ依リ選出ス

- 第一選舉區 第一教區 三名
- 第二選舉區 第二教區 一名
- 第三選舉區 第三教區 一名
- 第四選舉區 第四教區 一名
- 第五選舉區 第五教區 一名

- 第六選舉區 第六教區 一名
- 第七選舉區 第七教區 一名
- 第八選舉區 第八教區 一名
- 第九選舉區 第九教區 一名
- 第十選舉區 第十教區 一名
- 第十一選舉區 第十一教區 一名
- 第十二選舉區 第十二教區 一名

#### 第二章 選舉權及被選舉權

第四條 選舉發令ノ日其ノ選舉區内ニ於テ三十等以上ノ寺院ニ正住職タル者ハ選舉權ヲ有ス

第五條 男僧教師ニシテ選舉發令ノ日其ノ選舉區内ニ於ケル寺院ノ正住職タル者ハ被選舉權ヲ有ス

第六條 左記各項ノ一ニ該當スル者ハ選舉權被選舉權ヲ有セス

- 一、懲戒規則ニ依リ降等以上ノ處分ヲ受ケ特免セラレサル者又ハ停權中ノ者
- 二、破産ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者



三、宗費諸賦課金滯納者

第七條 左ニ掲クル者ハ議員ノ被選舉權ヲ有セス

一、執事長 執事 教區長

二、各種學校ノ學生並ニ宗費ノ補助ヲ受ケ就學中ノ者

### 第三章 選舉人名簿

第八條 選舉發令ノトキハ寺務所ニ於テ各選舉區毎ニ選舉發令ノ日現在ノ選舉有資格者ヲ調査シテ

選舉人名簿ヲ作り發令ト同時ニ各選舉長ニ配付ス

選舉長ハ當該選舉區内三十等以上ノ寺院住職ニ遲滯ナク其ノ副本ヲ配付スルモノトス選舉人名簿ニハ選舉人ノ氏名寺號ヲ記載スルモノトス

第九條 選舉人ハ選舉人名簿ニ脫漏又ハ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ選舉期日前二十六日迄ニ其ノ理由ヲ具シ選舉長ニ追加又ハ修正ヲ求ムルコトヲ得

但シ第六條第三號ノ規定ニ依ル失格者ニシテ其ノ滯納金ヲ完納セル者亦同シ

選舉長ハ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ其ノ理由アルモノハ追加又ハ修正ヲ爲シ其ノ

理由ナキモノハ申立人ニ其ノ旨ヲ通知シ共ニ寺務所ニ上申スヘシ

第十條 前條選舉人名簿ハ異議申請期間經過ノ翌日各選舉長ニ於テ寺務所ニ送付スルモノトス寺務所ハ調査ノ上選舉人名簿ヲ書留郵便ヲ以テ選舉長ニ送達ス 但シ異議申請期間經過ノ翌日ヨリ起算シテ十日間ヲ超エルコトヲ得ス

選舉人名簿ハ選舉期日前十五日ヲ以テ確定ス此確定ノ選舉人名簿ニ登載セラレサル者ハ投票ヲナスコトヲ得ス選舉人名簿ニ登載セラレタル者ト雖選舉權ナキ者ハ選舉權ヲ行使スル事ヲ得ス

### 第四章 選舉及投票

第十一條 議員ノ選舉ヲ行フトキハ管長ニ於テ其ノ選舉期日選舉場及選舉長ヲ指示シ選舉期日四十五日以前ニ之ヲ派内ニ告示スヘシ但シ選舉長ハ教區長ヲ以テ之ニ充ツ

第十二條 投票ハ選舉人本人ノ持參ニ依ルト書留郵便ニ依ルトヲ問ハス選舉期日ノ正午ヲ以テ終末トス

第十三條 選舉ハ單記投票ヲ以テ之ヲ行ヒ選舉人一人一票ニ限ル



投票用紙及第十四條第二號書式ノ封筒ハ寺務所ニ於テ之ヲ作り第十條ノ規定ニ依リ選舉人名簿送達ノ際同時ニ選舉長ニ交付スヘシ  
選舉長ハ投票用紙ヲ選舉人名簿確定ノ翌日ソノ區内ノ選舉人ニ書留郵便ヲ以テ送付シ又ハ直接配付スヘシ

選舉長ハ投票用紙ヲ各選舉人ニ配付シタルトキハ其ノ領收證ヲ徴シ直ニ寺務所ニ送付スヘシ但シ書留郵便ノ場合ハ書留證書ヲ以テ領收證ニ換フルコトヲ得

第十四條 投票書式ハ左ノ如シ

第一號書式 (用紙)

第〇教區	被選舉人氏名	主任印
第〇號	右議會議員ニ選舉ス	
	第〇教區〇〇寺住職 氏 名	名印

第二號書式 (封筒)

第〇教區	表	裏
第〇號	議會議員投票	第〇教區〇〇寺住職 氏 名
		名印

第三號書式 (封筒)

(選舉長所在地ヲ記入)	表	裏
第〇教區教務所	選舉長 氏 名 殿	所在地寺名 氏 名
	投票在中	名印

第十五條 選舉人ハ規定ノ投票用紙ニ第一號書式ニ依リ記入シ署名捺印シテ投票ヲ作り第二號書式ニ依リ之ヲ嚴封シ選舉場ニ本人自ラ持參スヘシ



投票ハ書留郵便ヲ以テ差出スコトヲ得此場合ハ第十四條第二號書式ニ依リ投票ヲ嚴封シタル上第十四條第三號書式ニ依リ之ヲ差出スヘシ

投票ハ凡テ選舉期日ノ正午ヲ過キテ到着セルモノハ無効トス

第十六條 選舉長ハ投票受理簿ヲ作り投票ノ到着順ニ番號及月日時ヲ記入シ嚴封ノマ、之ヲ保管スヘシ

但シ前條ノ規定ニ違反セルモノハ之ヲ受理セス

第十七條 選舉人ハ何等ノ理由アルモ一旦投票シタル後ハ其變更ヲ爲スコトヲ得ス

### 第五章 選舉開票及經費

第十八條 選舉長ハ其選舉區内ノ選舉人中ニ就キ立會人二名以上ヲ指定スヘシ

第十九條 選舉開票ハ選舉場ニ於テ選舉期日ノ午後一時ヨリ立會人立會ノ上選舉長之ヲ行フ

第二十條 投票ハ總テ開封シタル後其ノ效力ヲ審査スヘシ投票ノ效力ニ關シ疑義アルトキハ立會人ノ意見ヲ徵シ選舉長之ヲ決ス

第二十一條 選舉人ハ選舉長ノ決定ニ不服アルトキハ投票開緘ノ日ヨリ十日以内ニ寺務所ノ裁決ヲ請フヘシ

第二十二條 左ニ掲クル投票ハ之ヲ無効トス

- 一、選舉人ノ署名捺印無キモノ
  - 二、配付用紙ヲ用ヒサルモノ
  - 三、選舉人ニ非サル者ノ爲シタル投票及被選舉人ニ非サル者ヲ選舉シタル投票
  - 四、選舉人若ハ被選舉人ノ姓名ヲ認知シ難キモノ
  - 五、自選ヲ爲シタルモノ
  - 六、被選舉人ノ氏名ヲ訂正シ其ノ箇所ニ捺印セサルモノ
- 第二十三條 選舉長ハ選舉明細錄二通ヲ作り立會人連署捺印シ一通ハ寺務所ニ差出シ一通ハ投票ト共ニ一ケ年間之ヲ保存スヘシ
- 第二十四條 選舉明細錄ニハ左記ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一、選舉開票ノ顛末



二、有権者總數

三、投票總數

四、無效投票總數

五、有效投票總數

六、被選舉人ノ得票數及氏名

第二十五條 選舉人ハ選舉開票ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得

但シ選舉場ノ妨害ヲ爲シ若ハ妨害ヲ爲スヘキ虞アルトキハ選舉長ハ之カ退場ヲ命シ又ハ入場ヲ拒止スルコトヲ得

第二十六條 選舉開票ニ要スル經費ハ當該選舉區ノ負擔トス

## 第六章 當選人

第二十七條 投票ノ多數ヲ得タル者ヲ當選人トス得票同數ナルトキハ僧階ノ高キヲ取り僧階同シキトキハ年長ヲ取ル

第二十八條 當選人定リタルトキハ選舉長ハ直ニ之ヲ本人ニ通知スヘシ

第二十九條 當選人前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ一週間以内ニ諾否ヲ選舉長ニ申出ツヘシ若期限ヲ過キ諾否ノ申出ナキトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第三十條 當選人其當選ヲ辭シタルトキハ次點者ヲ當選人トス次點者尙辭スルトキハ更ニ選舉ヲ行フ

第三十一條 選舉長ハ當選人ノ承諾書ヲ得タルトキハ之ヲ寺務所ニ進達スヘシ

第三十二條 寺務所ニ於テ前條ノ進達ニ接シ選舉明細録ヲ精査シ正當ト認メタルトキハ管長ヨリ本人ニ當選狀ヲ交付ス

第三十三條 選舉ニ關シ違法又ハ不正ノ行爲ヲ發見シタルトキハ寺務所ハ之ヲ調査シ其選舉區ニ限リ其選舉ヲ無効トシ再選舉ヲ行ハシム

但シ選舉ノ結果ニ異同ヲ生セサルトキハ此ノ限ニアラス

第三十四條 前條ニヨリ當選人ニ異同ヲ生スルトモ先ノ當選人カ議會議員トシテ爲シタル行爲ハ其ノ效力ヲ變スルコトナシ



第三十五條 議員ニシテ被選舉權ヲ失ヒタルトキ又ハ他ノ教區へ轉住シタル場合ハ當然失職スルモノトス

第三十六條 議員ノ缺員ヲ生シタルトキハ管長ハ其ノ選舉區ニ限り補缺選舉ヲ行ハシム

補缺選舉ニヨリ當選シタル議員ハ前任者ノ殘任期間ヲ以テ任期トス

第三十七條 本則改正(昭和七年三月)ノ際在職セル議會議員ハ依然在職スルモノトシ其ノ任期ハ就職ノ當時ヨリ起算ス

## 第九 請願規則

第一條 宗制第九章第五十三條ニ依リ本規則ヲ定ム

第二條 本派僧侶ハ本規則ニ隨ヒ寺務所及議會ニ請願スルコトヲ得

第三條 請願書ハ其事件ノ要點及理由ヲ記載シ署名捺印スヘシ

第四條 多數ノ僧侶共同シテ請願ヲ爲ス場合ニハ其内ヨリ三名以内ノ委員ヲ選ミ之ニ委任狀ヲ交付シシニ依リ代辯セシム 但シ委員ハ請願書ニ委任狀ヲ添附スヘシ

第五條 寺務所へ提出スル請願書ハ總テ所管教區長ノ奥書ヲ得テ進達スヘシ教區長ノ職務ニ關スル

請願書ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六條 何等ノ事件ト雖モ此ノ規則ニ定メタル請願ノ方式ニ適合セス又ハ派内職員等ニ對シ侮辱ノ言辭アルモノハ之ヲ受理セス

請願書中ニ方式ヲ缺クモノニ限り指示ヲ請ヒ訂正ノ上差出スコトヲ得

第七條 寺務所へ提出シタル請願ニ對シテハ其願書ニ就キ審査シ之ニ決定書ヲ與フヘキモノトス

第八條 請願ノ決定書ハ教區長ヲ經テ請願人ニ交付スヘシ請願ヲ却下スル時亦同シ但シ請願人自ラ

出頭シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九條 前諸條ノ外派内一般ノ利益又ハ重要事件ニ對シ自己ノ意見ヲ書シ之ヲ建議トシテ差出ス場合ニモ本規則ヲ準用ス但シ此建議ニ對シテハ決定書ヲ與ヘサルモノトス

第十條 議會ニ提出スル請願書及建議ハ議員二名以上ノ紹介ニ依ルヘシ

## 第十 僧籍並僧籍編入規則



第一條 宗制第九章第五十八條ニ依リ本規則ヲ定ム

第二條 僧籍ニ關スル事項ハ左ノ如シ

本籍 氏名 父母 生年月日 得度 僧籍編入 改名 師僧 法類 教區 學業 法脉傳承  
正傳法 香衣 僧階 教階 學階 徒弟 法服 住職 兼務住職 兵役 褒賞 懲戒 職員議  
員其ノ他公職就任等ノ履歷ニ關スル一切ノ事項

第三條 僧籍ノ設定ハ左ノ例ニ依ル

- 一、住職ノ僧籍ハ當該寺院ニ置ク
- 二、兼務住職ノ僧籍ハ本務住職ノ寺院ニ置ク
- 三、前住職ノ僧籍ハ最後ニ住職タリシ寺院ニ置ク
- 四、徒弟ノ僧籍ハ師僧ノ住職寺院ニ置ク
- 五、前住職及徒弟ヲ師僧トスル徒弟ノ僧籍ハ各其師僧ノ在籍寺院ニ置ク

第四條 寺務所ニハ僧籍簿及除籍簿ヲ備フ

教區教務所ニハ其所屬管内僧侶ノ僧籍簿及除籍簿ヲ備フ

第五條 僧籍簿ニハ第二條ニ掲クル事項ニ就キ詳細ナル履歷ヲ記載スヘシ

第六條 徒弟ト稱スルハ僧籍ニ編入シ未タ住職セサル者ヲ謂フ

法類ト稱スルハ法類規則ニ依リ届出アル者ニ限ル 但シ法類ト法類總代トヲ別記スヘシ

第七條 僧侶ニシテ他教區ニ轉籍シタルトキハ前所屬教區長ハ其僧籍ト同一ノ抄本ヲ作り之ヲ轉籍

地教區長ニ交付シ其ノ僧籍ヲ除キ除籍簿ニ編入スヘシ

第八條 僧侶ニシテ僧籍ヲ脱セントスル者ハ左記ノ書類ヲ添ヘ理由ヲ記シタル僧籍削除願(非住職

ハ其ノ師僧又ハ其法類總代連署)ヲ寺務所ニ差出シ其ノ許可ヲ受クヘシ

但シ未丁年者ハ親權者若ハ後見人ノ連署ヲ要ス

僧籍編入證 僧階、教階、學階ノ辭令 法服許可證 法脉傳承、正傳法等ノ許可證

第九條 本派僧侶ニシテ左記各項ノ一ニ該當スル者ハ師僧又ハ其法類總代並ニ親權者若ハ後見人ヨ

リ僧籍ノ削除ヲ出願スヘシ

一、歸俗ノ目的ヲ以テ師僧寺ヲ出テタル者

二、敬上ノ節度ヲ守ラス師僧寺ヲ出テ五年以上所在不明ナル者



三、他宗他派へ無届轉籍シタル者

第十條 師僧ニ對シ不都合ノ行爲アリ改悛ノ見込ナキ者ハ師僧カ其ノ理由ヲ具申シ寺務所ノ承認ヲ得テ離弟スルコトヲ得此ノ場合ハ二年以内ニ他ニ附籍セサルトキハ除籍ス

第十一條 僧侶ニシテ第二條ニ掲クル事項ニ就キ異動ヲ生シタルトキハ其都度教務所ヲ經テ寺務所ニ届出ツヘシ

第十二條 僧侶ニシテ死亡シタルトキハ法類總代又ハ法類若ハ師僧ヨリ教務所ヲ經テ寺務所ニ届出ツヘシ

第十三條 死亡又ハ其他ノ事由ニ依リ削除セラレタル者ノ僧籍ハ別ニ除籍簿ニ編綴シ二十年間之ヲ保存スヘシ

第十四條 師僧換ヲナサントスルトキハ其事由ヲ詳記シ寺務所ノ認可ヲ受クヘシ 但シ新舊師僧及前後法類總代ノ連署ヲ要ス

第十五條 入寺徒弟志願ノ者アルトキハ其ノ身分性質ヲ審査シ將來本派ノ僧侶タルニ缺點ナキ者ヲ選ミ其ノ父兄及關係者ト熟議ノ後之ヲ許容スヘシ

入寺徒弟タルヲ許容シタル後ハ規定ニ從ヒ得度式ヲ行ヒ度牒ヲ授クヘシ

第十六條 得度以後尋常ノ行儀法式ヲ修習シ教區長ニ於テ三部經素讀ノ試験ヲ受ケ年齡滿十二歳ニ達シタル後ハ僧籍編入ヲ出願スルコトヲ得

第十七條 僧籍編入ヲ請フ者ハ書式ニ準シ戶籍抄本ヲ添ヘ教區長ヲ經テ寺務所ニ出願スヘシ此ノ場合ニハ別ニ定ムル義財ヲ納メシム

第十八條 寺務所ニ於テ前條ノ願書ヲ受理シタルトキハ僧籍編入證ヲ附與ス其書式左ノ如シ

何府縣市郡町何寺住職何誰徒弟

姓 名

本派僧籍ニ編入ス

年 月 日

淨土宗西山深草派總本山寺務所 印

第十九條 僧籍ニ編入セラレタル者ハ改名ノ手續ヲ爲シ其旨寺務所ニ届出ツヘシ



### 第十一 法脈傳承規則

#### 第一章 總 則

- 第一條 宗制第九章第五十八條ニ依リ本規則ヲ定ム
- 第二條 列祖相承ノ宗義並ニ圓頓戒ヲ相傳スルヲ宗脈戒脈ノ相承トス
- 第三條 傳燈弘通ノ正意ヲ傳フルヲ正傳法トス
- 第四條 曼陀羅註記ニ依リ事相教旨ノ秘義ヲ相傳スルヲ曼陀羅相承トス
- 第五條 信徒ニ對シ宗義ヲ相傳スルヲ五重相傳トシ圓戒ヲ相傳スルヲ授戒トス
- 第六條 宗脈相承及五重相傳ノ能化ヲ傳燈師ト稱シ深草正傳法ノ能化ヲ傳法大導師ト稱シ圓戒相承能化ヲ傳戒師ト稱ス

#### 第二章 宗脈戒脈相承

- 第七條 宗脈戒脈ノ相承ハ總本山又ハ大本山ニ於テ之ヲ行フ傳燈師ハ總本山又ハ大本山ノ法主ニ限ル
- 第八條 法脈ノ相傳ヲ受ケント欲スル者ハ僧籍編入後滿三年ヲ經過シ所屬ノ教務所ニ就テ左ノ科目ニ依リテ試験ヲ受ケタル者ニ限ル

選擇集及五部九卷 素讀

- 第九條 法脈相承ヲ請フ者ハ書式ニ準シ義財相添ヘ所屬ノ教務所ヲ經テ寺務所ニ出願スヘシ
- 第十條 寺務所ニ於テ前條ノ願書ヲ受理シタルトキハ本人ニ對シテ承認書ヲ交付ス
- 第十一條 前條ノ承認書ヲ得タル者ハ總本山又ハ大本山ニ届出テ傳燈師ニツキテ加行スヘシ  
前項ノ加行ヲ終ヘタル者ハ傳燈師ヨリ許可狀ヲ授與ス
- 第十二條 法脈相承ノ許可狀ヲ得タル者ハ傳燈師ノ證明ヲ得テ寺務所ニ届出ツヘシ
- 第十三條 尼僧及年齡三十歳以上ノ者ニシテ本則第八條ノ規定ニヨリ難キ者ハ特ニ結縁加行ヲ許可スルコトアルヘシ此ノ場合ニハ第九條乃至第十二條ヲ準用ス

#### 第三章 正 傳 法



第十四條 正傳法ハ總本山若ハ深草祖廟ニ於テ之ヲ行フ傳法大導師ハ總本山法主ニ限ル  
第十五條 正傳法施行ノ期日ハ寺達ヲ以テ告示ス

第十六條 正傳法ヲ行フ道場ニ教誡師一名ト幹事一名ヲ置ク教誡師ハ僧正以上若ハ學階已講以上ノ者ニ就キ管長之ヲ任免シ幹事ハ教師以上ニ就キ執事長之ヲ任免ス

第十七條 教誡師ハ受者ヲ訓誡シ宗義ヲ講授シ専ラ道念ノ涵養ニ勉ムヘシ  
幹事ハ道場ヲ整理シ受者ヲ監督シ一切ノ事務ヲ管掌ス

第十八條 左項ノ一ニ該當スル者ハ正傳法ヲ受クルコトヲ得

- 一、西山専門學校一年級修了者 又ハ禪林宗學院高等科一年修了者
- 二、擬講補檢定證ヲ有スル者
- 三、擬講補以上ノ者

第十九條 正傳法ヲ受ケント欲スル者ハ履歷書ヲ添ヘ出願スヘシ

第十八條第一項ノ者ハ證明書ヲ添フヘシ其ノ他出願ノ手續ニ關シテハ第九條乃至第十二條ヲ準用ス

#### 第四章 曼陀羅相承

第二十條 曼陀羅相承ハ總本山ニ於テ總本山法主之ヲ行フ

第二十一條 曼陀羅相承ノ期日ハ寺達ヲ以テ告示ス

第二十二條 左項ノ一ニ該當スル者ハ曼陀羅相承ヲ受クルコトヲ得

- 一、西山専門學校卒業又ハ禪林宗學院高等科卒業以上ノ者
- 二、専門學校又ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シ宗乘ノ試験ニ合格シタル者
- 三、權中僧都以上ノ者
- 四、教階布教師補一級ノ者

第二十三條 曼陀羅相承出願ノ手續ニ就テハ第十九條ヲ準用ス

#### 第五章 五重相傳並ニ授戒

第二十四條 五重相傳及授戒會ハ一般寺院ニ於テ之ヲ行フ事ヲ得



- 第二十五條 五重相傳ノ期日ハ五日間授戒ハ七日間トス
- 第二十六條 五重會導師ハ曼陀羅相承以上ノ者ニ限り授戒會導師ハ總本山又ハ大本山法主並ニ檀林住職ニ限ル
- 第二十七條 五重會及授戒會ヲ修行セントスル寺院住職ハ其ノ血脈譜下付ヲ總本山ニ出願スヘシ其ノ血脈下付ノ方法ハ別ニ之ヲ定ム
- 第二十八條 五重會及授戒會ヲ修行シタルトキハ其ノ寺院住職ハ會期傳燈師又ハ傳戒師及受者ノ人員數ヲ記載シテ三十日以内ニ寺務所ニ届出ツヘシ
- 第二十九條 前條届出ノ寺院住職ニ對シテハ功績詮考會ニ於テ其ノ功績ヲ録ス

### 第十二 僧階補任規則

- 第一條 宗制第九章第五十八條ニ依リ本規則ヲ定ム
- 第二條 法脈ヲ傳承シタル者ニシテ年齡滿二十歳以上ノ者ニアラサレハ教師補以上ニ補任セラル、コトヲ得ス

第三條 宗學研究所布教講習所西山專門學校各科卒業若ハ學年修了者禪林宗學院高等科卒業若ハ學年修了者聖峰中學並ニ禪林宗學院初等科卒業者普通教習所ノ試験合格者西山尼衆教習所卒業者及教師教師補檢定試験合格者又ハ專門學校卒業若ハ學年修了者ニシテ西山專門學校當該學年ニ於ケル程度ノ宗餘乘ノ檢定試験合格者ハ左表ノ區分ニ從ヒ權大僧都以下ノ教師ニ補スルモノトス

僧階補任表

種別	僧階		補任
	權大僧都	中僧都	
宗學研究所	卒業試験合格	第二次試験合格	擬講
西山專門學校	卒業試験合格	第二次試験合格	擬講
禪林宗學院	卒業試験合格	第二次試験合格	擬講
西山專門學校	卒業試験合格	第二次試験合格	擬講
研究科	卒業試験合格	第二次試験合格	擬講
同科	卒業試験合格	第二次試験合格	擬講
別科	卒業試験合格	第二次試験合格	擬講
西山	卒業	三年修了	擬講
門學校	卒業	三年修了	擬講
選科	卒業	三年修了	擬講
別科	卒業	三年修了	擬講
科	卒業	三年修了	擬講



禪林宗學院高等科									卒業	三年修了	二年修了	一年修了	
布教講習所									高等科卒業	普通科卒業	普通科卒業		
聖峰中學並禪林宗學院普通科													卒業
西山尼衆教習所											高等科卒業	普通科卒業	卒業
普通教習所卒業試験											合格	合格	
准擬講檢定試験											合格		
擬講補檢定試験													合格
西山専門學校卒業檢定試験							合格						
同三年修了檢定試験上								合格					
同二年修了檢定試験上									合格				
同一年修了檢定試験上											合格		

第四條 本派僧侶ニシテ法脈ヲ傳承シ僧籍編入ノ日ヨリ滿八年ヲ經過シ年齡滿二十三歳以上ニ達シ僧行如法ナル者ハ願ニ依リ擬講補ニ任スルコトヲ得但シ此ノ場合ニハ別ニ定ムル義財ヲ納メシム

第五條 前條ノ規定ニ依リ擬講補ニ任セラレタル者ニシテ滿三年ヲ經過シ正傳法ヲ相承シタル者ハ願ニ依リ特ニ准擬講ニ任スルコトヲ得但シ此ノ場合ニハ別ニ定ムル義財ヲ納メシム

第六條 前條ノ規定ニ依リ准擬講ニ任セラレタル者ハ進級又ハ寺格斑金格地等級十五等以上ノ寺院ニ住職スルコトヲ得ス

第七條 學階ヲ有スル者ハ現級ニアルコト滿三年ヲ經過スル毎ニ特ニ法臘ニ關セス大僧都ニ至ルマテ累進スルコトヲ得但シ此ノ場合ニハ別ニ定ムル書式ニ依リ義財相添ヘ所屬教務所經由出願スヘシ

第八條 第四條及第五條ノ規定ニ依ル者ヲ除クノ外法臘滿二十年ニ達シ現級ニアルコト滿二年ヲ經過シタル者ハ大僧都ニ至ルマテハ寺門ノ經營各種講習會ノ聽講度數其他相當ノ道功ニ依リ累進スルコトヲ得但シ此ノ場合ニハ別ニ定ムル書式ニ依リ義財相添ヘ教務所ヲ經テ寺務所ヘ出願スヘシ

功績詮考會ノ推薦ニヨルモノハ此ノ限ニアラス

第九條 各種講習會ニ五回以上出席シ其ノ講習證ヲ有スル者ハ試験ノ上一級昇進スルコトヲ得但



シ僧正位ノ昇級ハ此ノ限ニアラス

第十條 大僧都ニシテ曼陀羅ヲ相承シ年齢四十歳以上ノ者左記各項ノ二以上ヲ具備シ執事長ノ推薦

ニ基キ功績詮考會ノ推薦ヲ經タル者ハ權少僧正以上中僧正マテ累進スルコトヲ得 但シ原級ニアルコト滿三年以上タルコトヲ要ス

一、學階稱號又ハ教階布教師ノ稱號ヲ有スル者

二、學術德望秀拔ニシテ衆庶ノ師表ト仰クニ足ルヘキ者

三、教旨擴張ノタメ有益ナル著述若ハ編輯セシ者

四、宗派又ハ本山ノタメ教學若ハ維持上卓絶セル功勞アル者

五、二十年以上宗派ノ教育若ハ布教ニ從事シ顯著ナル功績アル者

六、教學資金ヲ獻納シタル者

第十一條 檀林住職ニ非レハ權大僧正ニ任セラル、コトヲ得ス

第十二條 管長ハ當然大僧正トス

第十三條 管長候補者ハ就職ノ日ニ於テ權大僧正ニ任スルモノトス

第十四條 本規則ノ規定ハ賞典規則ニ依リ進級セシムル場合ヲ妨ケス

第十五條 本宗他派ノ教師ニシテ本派ニ轉籍セントスルモノハ願書履歷書戶籍抄本當該管長ノ證明書及別ニ定ムル義財ヲ添ヘ教務所ヲ經テ寺務所ニ出願スヘシ

前項ニ依リ轉籍ヲ許可セラレタル者ハ檢定試験ヲ要セス原等級ノ教師ニ任用ス 但シ一年以内ニ於テ正傳法ヲ受クルコトヲ要ス

### 第十三 教師檢定規則

第一條 宗制第九章第五十八條ニ依リ本規則ヲ定ム

第二條 教師補檢定出願者ハ左記ノ資格ノ一ヲ有スルモノニ限ル

- 一、中學校若クハ文部大臣ニ於テ認定セラレタル中學ヲ卒業シタルモノ
- 二、僧籍編入ノ日ヨリ滿七ケ年ヲ經過シタルモノ

第三條 教師檢定試験出願者ハ左記資格ノ一ヲ有スルモノニ限ル

- 一、專門學校若クハ之ト同等以上ノ學校文學科各學年ヲ修了シタルモノ



二、教師補檢定試験ニ合格シタルモノ

第四條 前二條ノ試験ハ左ノ標準ニ依リテ之ヲ行フ

一、第二條第一項ノモノハ普通教習所ノ全學科

一、第二條第二項ノモノハ中學校ノ全學科及普通教習所ノ全學科

一、第三條第一項ノモノハ西山専門學校各應當學年ニ於テ課スル宗乘又ハ宗餘乘

一、第三條第二項ノモノハ西山専門學校第一學年ノ全學科

但シ尼僧ノ教師補檢定試験ハ西山尼衆教習所ノ全學科ニ依ル

第五條 檢定試験ヲ受ケムトスル者ハ願書ニ履歷書當該學校長ノ證明書及別ニ定ムル受験料ヲ添ヘ  
教務所ヲ經テ寺務所ニ出願スヘシ

第六條 檢定試験ハ宗學研究所ニ於テ之ヲ行ヒ期日ハ寺達ヲ以テ之ヲ公示ス 但シ必要アル場合ハ  
臨時ニ之ヲ行フコトアルヘシ

第七條 受験志願者ニシテ第四條ニ規定シタル檢定試験學科中既ニ修了セル學科アル場合ニハ其  
ノ學業ヲ詮衡シ試験ヲ省略スルコトヲ得

第八條 檢定ノ方法ハ一學科ニ對シ一百點ヲ以テ滿點トシ總學科平均六十點以上ヲ得タル者ヲ合格  
者トス 但シ一學科ノ點數四十點ニ滿タサルモノアルトキハ不合格者トス

第九條 檢定試験ヲ受ケタル者ニシテ其ノ試験ニ合格セサルモノ一學科若ハ數學科ニ付成績佳良ナル  
トキハ其ノ科目ノ成績ニ關シ證明書ヲ授與スルコトアルヘシ

第十條 前條ノ證明ヲ受ケタル者ニシテ二年以内ニ更ニ檢定試験ヲ出願スルトキハ其ノ證明書ニ記  
載シタル學科目ノ試験ヲ受クルヲ要セス

第十一條 試験ニ際シ不正ノ行爲アリタルトキハ試験ヲ停止シ又ハ其ノ試験ヲ無効トス

第十二條 前條ノ處分ヲ受ケタル者ハ一年ヲ經ルニ非サレハ再ヒ受験ヲ許サス

第十三條 檢定試験ノ委員長ハ宗學研究所長ヲ以テ之ニ充ツ委員ハ宗學研究所ノ教授講師其ノ他ニ  
就キ執事長ノ推薦ニ依リ管長之ヲ任免ス

第十四條 寺務所職員ハ檢定試験場ヲ臨監スルモノトス

第十五條 檢定試験委員長ハ合格者ニ對シ合格證明書ヲ與ヘ其成績ヲ寺務所ニ報告スヘシ



### 第十四 學階授與規則

- 第一條 宗制第九章第五十八條ニ依リ本規則ヲ定ム
- 第二條 本派教師ニシテ左記各項ノ一ニ該當スル者ハ得業ノ稱號ヲ授ク
- 一、宗學研究所ヲ卒業シタル者
  - 二、西山専門學校研究科ヲ修業シ論文ヲ提出シ審査ニ合格シタル者
  - 三、大學令ニ依ル學部卒業業者ニシテ宗餘乘ノ論文ヲ提出シ審査ニ合格シタル者
  - 四、大學令ニ依ル學部佛敎學ヲ專攻シタル卒業業者ニシテ宗乘ノ論文ヲ提出シ審査ニ合格シタル者
  - 五、有益ナル著述若クハ編輯ヲナシタル者
- 第三條 曼陀羅ヲ相承シ左記各項ノ一ニ該當スル者ハ已講ノ稱號ヲ授ク
- 一、得業ニシテ五年以上宗學研究所ノ教授又ハ講師ノ職ヲ奉シ法臘三十年以上ノ者
  - 二、文學博士ノ學位ヲ有スル者

第四條 已講ノ稱號ヲ有シ多年本派ノ教旨ヲ研究シ又ハ餘乘ニ精通シ學識該博ニシテ學者ノ模範タルヘキ者ニハ勸學ノ稱號ヲ授ク

第五條 學階授與ハ執事長ノ推薦ニ依ル

第六條 管長ハ前條ノ推薦ヲ相當ト認ムルトキハ學階狀ヲ授與ス

### 第十五 教階補任規則

第一條 宗制第九章第五十八條ニ依リ本規則ヲ定ム

第二條 准擬講以上ニシテ布教ニ堪能ナル者ハ布敎師補二級ニ補ス

専門學校卒業以上ニシテ布教ニ堪能ナル者ハ布敎師補一級ニ補ス

布敎講習所專攻科ヲ卒業シ布教ニ堪能ナル者ハ職員會ノ推薦ニヨリ教階一級ヲ進ム

第三條 布敎講習會及特殊講習會ニ五回以上出席シ布教ニ練達シ其功績ヲ認メタルモノハ教階ヲ進級セシム

第四條 特殊布敎若ハ感化救濟等ノ事業ニ從事シ布教ニ練達セル者ハ相當教階ニ補スルコトヲ得



- 第五條 教階ノ補任及進級ハ功績詮考會ノ詮考ヲ經ルモノトス
- 第六條 布教師ニ任セラレタル者ハ廣ク檀信徒ヲ教導シ世道ヲ維持スル爲メ教線ノ擴張ニ努ムヘシ
- 第七條 布教師ハ本派僧侶並ニ檀信徒中篤行者忠孝節義等總テ衆庶ノ模範トナルヘキ者アルトキハ其ノ事實ヲ調査シ寺務所ニ具申スヘシ
- 第八條 布教師派遣ヲ命セラレタルトキハ寺務所職員給與令ニ準シ旅費及相當ノ日當ヲ支給スルモノトス

## 第十六 教育規則

- 第一條 宗制第十章第六十一條ニ依リ本規則ヲ定ム
- 第二條 本派僧侶ノ教育ハ左ノ方法ニ依ル
  - 一、中等教育
  - 二、普通教習所
  - 三、專門教育
  - 四、宗學研究所
  - 五、布教講習所
  - 六、各種講習會
  - 七、尼僧教育

- 第三條 中等教育ハ各中學校及文部大臣ノ認定セル中學ニ於テ僧侶ヲシテ便宜ニ從ヒテ修學セシム
- 第四條 普通教習所ハ中學卒業者ノ爲メニ本派僧侶トシテ須要ナル宗乘餘乘宗教學佛敎史ノ大要ヲ教授シ併セテ法式行儀ヲ實習セシム
- 普通教習所規則ハ別ニ之ヲ定ム
- 第五條 中學卒業者ハ普通教習所ニ入所セシム 但シ聖峰中學卒業者ハ禪林宗學院初等科卒業ヲ以テ擬講補檢定試験ニ於テ無試験檢定トス
- 第六條 專門教育ハ西山專門學校ニ依托シテ教育ス 但シ學生ノ希望ニ依リ禪林宗學院高等科ニ入學セシムルコトヲ得
- 第七條 宗學研究所ハ宗乘ノ奧義ヲ研究セシムルヲ以テ目的トス
- 宗學研究所ノ規則ハ別ニ之ヲ定ム
- 第八條 布教講習所ハ祖承ノ精旨ヲ體認シ布教術ヲ練達セシムルヲ以テ目的トス
- 布教講習所ノ規則ハ別ニ之ヲ定ム
- 第九條 講習會ヲ分チテ左ノ三種トス



- 一、教學講習會 一般僧侶ヲ入會講習セシム
  - 二、布教講習會 布教志望者ヲ入會講習セシム
  - 三、特殊講習會 教化感化救濟事業及社會事業等ノ志望者ノ爲メ特殊ノ講習ヲ爲スモノトス
- 第十條 各種講習會ノ規則ハ宗令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第十一條 本派僧侶ニシテ中學以上ノ學校ニ在學スル者ニ獎學補助金ヲ支給ス  
獎學規則ハ宗令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第十二條 尼僧ノ教育ハ西山尼衆教習所ニ依托シテ教育ス
- 第十三條 本規則ニ依リ教育ヲ終リタル者ハ宗規ノ定ムル所ニ從ヒ僧階學階教階ヲ授ク

### 第十七 宗學研究所規則

- 第一條 宗制第十章第六十一條ニ依リ本規則ヲ定ム
- 第二條 宗學研究所ハ派内ノ僧侶ヲシテ宗乘ノ蘊奧ヲ究メシムルヲ以テ目的トス
- 第三條 宗學研究所ニ左ノ講座ヲ設置ス

第一講座 宗乘ノ奧義ノ研究及論義(一期中二回以上)

第二講座 曼陀羅註記及事相教旨ノ研究

第三講座 宗教學及淨土各派ノ比較研究其ノ他宗乘研究ノ參考學科

第四條 宗學研究所ハ總本山内ニ之ヲ置ク

第五條 左項ノ一ニ該當スルモノハ宗學研究所ニ入學スルコトヲ得

一、西山専門學校ノ本科及別科卒業者

二、禪林宗學院高等科卒業者

三、専門學校又ハ大學令ニ依ル學部ヲ卒業シ西山専門學校卒業以上ノ宗乘ノ學力アル者

第六條 宗學研究所ノ修業年限ヲ五期トシ毎年六十日間開所ス

開期ハ宗告ヲ以テ告示ス

第七條 宗學研究所ニ於テハ第二期及第四期ノ終ニ第一次第二次ノ試験ヲ行ヒ第五期ノ終ニ卒業試験ヲ行フ

卒業試験ヲ受ケムトスル者ハ卒業論文ヲ提出スヘシ 但シ卒業論文不合格者ハ卒業試験ヲ受ク



ルコトヲ得ス

第八條 卒業論文提出期日及ヒ卒業試験期日ハ所長之ヲ定ム

第九條 宗學研究所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長 一名 教授 若干名

講師 若干名 幹事 一名

第十條 所長教授及講師ハ管長之ヲ任免シ幹事ハ所長之ヲ任免ス

第十一條 所長ハ宗學研究所ニ關スル事務ヲ總理ス

第十二條 教授及講師ハ所長ノ監督ヲ受ケ講座ヲ擔任ス但シ所長ハ教授ヲ兼ヌルコトヲ得

第十三條 幹事ハ所長ノ指揮ヲ受ケテ庶務ニ従事ス

第十四條 前各條ノ外必要ナル細則ハ宗令ヲ以テ之ヲ定ム

### 第十八 布教講習所規則

第一條 宗制第十章第六十一條ニ依リ本規則ヲ定ム

第二條 布教講習所ハ祖承ノ教旨ヲ體認シ布教術ヲ練達セシムルヲ以テ目的トス

第三條 布教講習所ハ大本山内ニ設置ス

第四條 布教講習所ハ之ヲ普通科高等科専攻科ニ分チ普通科高等科ハ各三期専攻科ハ二期ヲ以テ卒業トシ一期ヲ三ヶ月トス

第五條 各科ノ學科目ハ宗令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 西山各派ノ僧侶ニシテ左ノ一ニ該當スル者ハ入所スルコトヲ得

普通科入所資格

一、擬講補以上ノ者

一、禪林宗學院初等科卒業者

一、深草派普通教習所卒業者

一、教師補檢定試験合格者

一、西山専門學校別科一年修了者及選科二年修了者

高等科入所資格



- 一、深草派布教講習所普通科卒業者
- 一、准擬講以上ノ者
- 一、深草派布教師補二級以上ノ者
- 一、西山専門學校本科一年修了者別科二年修了者選科三年修了者
- 一、禪林宗學院高等科一年修了者
- 一、教師檢定試験合格者

専攻科入所資格

- 一、深草派布教講習所高等科卒業者
- 一、擬講以上ノ者
- 一、深草派布教師補一級以上ノ者
- 一、西山専門學校本科二年修了者別科三年修了者選科卒業者
- 一、禪林宗學院高等科二年修了者

第七條 本派僧侶ニシテ布教講習所ノ聽講生タラムコトヲ希望スルモノアル時ハ職員會ニ於テ相當

ノ資格アリト認メタル場合ニ限り許可スルコトアルヘシ

第八條 布教講習所ニ於テハ每期ノ終リニ修行課程ニ就テ試験ヲ行ヒ修了者ニハ修了證卒業者ニハ卒業證ヲ授與ス

第九條 布教講習所長ニハ大本山圓福寺法主ヲ推戴ス

第十條 布教講習所ニ左ノ職員ヲ置ク

主事 一名 幹事 一名

講師 若干名 助講師 若干名

第十一條 所長ハ布教講習所ヲ代表ス

主事ハ所長ヲ補佐シ教務ヲ擔任ス

幹事ハ庶務會計ヲ司ル

第十二條 職員ハ深草派執事長ノ推薦ニヨリ深草派管長之ヲ任命ス

第十三條 職員會ハ主事、幹事、講師及助講師ヲ以テ之ヲ組織シ主事共議長トナリ出席者ノ過半數ヲ以テ評決ス



第十四條 主事ハ每期ノ試験期日ヲ定メ十五日以前ニ深草派寺務所ニ報告シ閉所後十日以内ニ左ノ事項ヲ具申スヘシ

一、當該期間内ノ授業時數及職員ノ執務狀況

二、所生出缺表及試験成績表

三、法會傳道ノ概様

四、會計報告

五、其他一般狀況ノ摘要

第十五條 本規則施行上必要ナル事項ハ宗令ヲ以テ之ヲ定ム

## 第十九 布教規則

第一條 宗制第十一章第六十三條ニ依リ本規則ヲ定ム

第二條 布教ハ説教法話講義演説及文書傳道等總テ檀信徒並ニ公衆ニ對シ信仰ヲ扶殖シ感化ヲ與フヘキ方法ヲ擇ヒ之ヲ施行スルモノトス

第三條 管長親ラ布教スルヲ親教ト稱シ之ヲ定期親教臨時親教ノ二種トス

一、毎年一回以上區域日數ヲ定メテ親教ヲ行フモノヲ定期親教トス

二、寺院若ハ信徒ノ特請ニ依リ親教ヲ行フモノヲ臨時親教トス 但シ時宜ニ依リ代理ヲ命スルコトアルヘシ

親教ヲ特請セントスル者ハ別ニ定ムル書式ニ依リ教務所ヲ經テ寺務所ニ出願スヘシ

第四條 管長ノ親教ニハ布教師一名侍者一名ノ隨行員ヲ具ス

第五條 管長ハ時宜ニ依リ特命布教師ヲ派出スルコトアルヘシ 但シ布教師一級ノ待遇ニ相當スル教師中ニ就キ管長之ヲ特命ス

第六條 布教師カ管長ノ指定ニ依リ各地ニ巡回布教スルヲ巡教ト稱ス

第七條 定期巡教ハ毎年春秋二季寺務所ニ於テ巡回ノ區域並ニ布教師及巡教日割ヲ指定ス 但シ必要ニ依リテハ臨時巡教ヲ命スルコトアルヘシ

第八條 管長ハ各教區又ハ一地方ニ必要アリト認メタルトキハ特殊布教ノ組織ヲ爲シ又ハ之カ組織ヲ命スルコトアルヘシ



第九條 特殊布教トハ記念傳道及軍隊、警察、鐵道、工場布教並青年會婦人會日曜學校子供會其ノ他ノ團體ニ布教師ヲ派遣スルモノヲ謂フ

第十條 管長ハ本派ノ教旨信仰ヲ文書ヲ以テ傳道センカ爲メニ定期ニ又ハ隨時ニ文書ヲ刊行セシム之ヲ文書傳道ト謂フ

第十一條 内地海外ヲ問ハス未開教地ニ布教師ヲ派遣シテ本派ノ教旨ヲ宣傳スルヲ開教ト稱ス

第十二條 布教師ニシテ成績優良功勞顯著ナル者ハ特ニ功績詮考會ニ於テ功績ヲ録ス

### 第二十 服制規則

第一條 宗制第十二章第六十六條ニ依リ本規則ヲ定ム

第二條 法服色章左ノ如シ

一、袈裟 純金 斑金 顯色 木欄 黒 鼠

二、衣 緋 紅梅 紫 藤 香(青、黄、茶) 水 黒

三、法冠 純金 斑金 顯色 黒

四、領帽 純白

五、座具 金欄 木欄 黒 鼠

六、袴(兼貫切袴) 純素八ツ藤 淺黄紋白八ツ藤 紫

第三條 法服被着ノ制限ヲ定ムルコト左表ノ如シ

寺務	法服	袈裟	衣	法冠	領帽	兼貫切袴	座具
總本山	純金	緋	純金	純金	純白	純素八ツ藤	金欄
大本山	純金	緋	純金	純金	純白	純素八ツ藤	金欄
檀林	同	紫	同	同	同	淺黄紋白八ツ藤	同
檀林格地	同	同	同	同	同	同	同
准檀林	同	香	同	同	同	紫	同
准檀林格地	斑金	同	同	同	同	同	同
斑金格地	同	同	同	同	同	同	同



香衣地	顯色	同	顯色	同	同	同
西堂地	同	黑	同	不許	不許	顯色
平僧地	黑、鼠	同	黑	同	同	黑

第四條 龍膽車紋章ヲ付シタル袈裟ノ色章ヲ分テ左ノ四種トス第一種法主第二種檀林住職第三種第

四種ハ別ニ定ムル賞典規則ニ依リ授與セラレタル者ニ限り之ヲ用フルモノトス

第一種 茶地金襴 第二種 萌黃金襴 第三種 紺地金襴 第四種 金紋章

第五條 教師補以下ノ法服制限左ノ如シ

稱號	法服	袈裟	衣	法冠	領帽	差貫切袴	座具
長老	顯色	水色	顯色	白	紫	金襴	
西堂	顯色	黑	黑			顯色	
准西堂	木襴	同	同			木襴	
沙彌	黑、鼠	同	同			黑、鼠	

第六條 左ニ掲クル者ハ管長ノ許可ヲ得テ寺格以上ノ法服ヲ着用スルコトヲ得 但シ此ノ場合ニハ別ニ定ムル義財ヲ納附セシム

特許法服名	特許出願應當資格
紅梅色法服	第一項 檀林住職ニシテ少僧正以上ノ者
檀林相當法服	第二項 准檀林格地以上ノ寺院住職ニシテ大僧都以上ノ者
	第三項 等級九等以上ノ寺院住職ニシテ大僧都ニ進級シ純金袈裟被着許可アル者
	第四項 權少僧正又ハ學階已講若クハ教階布教師一二級ノ稱號ヲ有スルモノ
	第五項 斑金格地以上ノ寺院住職ニシテ權中僧都以上ノ者
藤色法衣	第六項 等級十二等以上ノ寺院住職ニシテ中僧都以上ニ進級シ斑金袈裟被着許可アル者



	第七項	權大僧都又ハ學階得業若クハ教階布教師三級ノ稱號ヲ有スルモノニシテ斑金袈裟被着許可アル者
純金袈裟	第八項	中僧都以上ニシテ斑金袈裟被着許可アル者
斑金袈裟	第九項	權少僧都以上ノ者又ハ教階布教師補ノ稱號ヲ有スルモノ

第七條 管長事務取扱又ハ現職執事長若クハ少僧正以上ノ者ニシテ總大本山内ニ於テ法主代務ノ際ニ限り紅梅色法衣ヲ着用スルコトヲ得

第八條 藤色法衣着用ヲ許可セラレタル者ハ斑金ノ法冠及淺黃紋白ハツ藤差貫及切袴ヲ着用スルコトヲ得

第九條 學階ヲ有スル者ハ第三條ノ規定ニ關セス左記ノ法服ヲ着用スルコトヲ得

學階	勸學	已講	得業
被着服名	檀林相當法服	准檀林相當法服	准檀林格地相當法服

第十條 准擬講以上ノ教師ニシテ正傳法ノ許可證ヲ有スル者ハ別ニ定ムル義財相添へ出願スルトキ

ハ香衣着用ヲ許可ス

第十一條 擬講補ニ任セラレタル者ニシテ法脈相承後滿五年ヲ經過シ正傳法ノ許可證ヲ有スル者ハ別ニ定ムル義財相添へ出願スル時ハ水色法衣及紫差貫切袴ノ着用ヲ許可ス

第十二條 結縁加行ニ依ル法脈相承ノ者ハ木欄袈裟及木欄座具ヲ用フル外總テ黒衣トス

第十三條 香衣許可ヲ得サル者ハ香衣着用者ノ上座又ハ香衣地以上ノ寺院ニ附帶スル法服ヲ着用スルコトヲ得ス

第十四條 寺務所及宗學研究所等ノ職員布教師其他生徒ノ服制ニ關スル色章等ハ宗令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 凡テ法服着用ノ制限ヲ混亂シ又ハ類似ノ色章若ハ制限外ノ色章ヲ用フルコトヲ許サス

### 第二十一 寺格昇降規則

第一條 宗制第十三章第七十八條ニ依リ本規則ヲ定ム

第二條 管長ハ本規則ニ依リ檀林格地以下ノ寺格昇降ヲ特許スルコトヲ得 但越格スルコトヲ得ス



第三條 前條ニ依リ寺格ヲ昇降セントスルモノハ其ノ寺院ノ歴史現況ヲ詳記シ別ニ定ムル書式ニ依リ教務所ノ證明書ヲ添ヘ寺務所ニ出願スヘシ

第四條 前條ノ願書ヲ受理シタルトキハ執事長ハ其當否ヲ審査シ管長ニ具中スヘシ

第五條 寺格昇降ノ特許ヲ得タルモノハ別ニ定ムル義財金ヲ納付スヘシ

第六條 檀林格地及准檀林ノ昇降ハ關係者ノ出願ニ依リ議會ノ協賛ヲ要ス

### 第二十二 座次及禮遇規則

第一條 宗制第九章第五十八條ニ依リ本規則ヲ定ム

第二條 本派僧侶ノ座次ハ左表ニ依ル

種別	座次	寺格	等級	僧階
一	一	大本山檀		僧權 正大
二	二	林	特一等	中僧正
三	三	格檀	特二等	僧權 正中
四	四	地林	二一等	少僧正
五	五	准檀林	四三等	僧權 正少
六	六	准檀林	六五等	大僧都
七	七	准檀林	九八七等	僧權 都大
八	八	准檀林	十二十一等	中僧都
九	九	香衣地	十四十三等	僧權 都中
十	十	同	十八十七等	少僧都
十一	十一	同	廿一十九等	僧權 都少
十二	十二	同	廿四廿三等	擬講
十三	十三	同	廿七廿六等	准擬講
十四	十四	西堂地	卅廿九等	擬講補

第三條 同座次中資格同シキ者ハ左記各項ニ依リ其ノ座次ヲ定ム

- 一、寺格同シキ者ハ等級ニ依ル
- 二、寺格等級同シキ者ハ僧階ニ依ル
- 三、寺格等級僧階同シキ者ハ(一)位階(二)勳等ノ有無ト其等級ニ依ル
- 四、寺格、等級僧階、位階、勳等同シキ者ハ法臘ニ依ル



第四條 資格二以上ヲ具備スル者ハ第二條左表ニ照シ其ノ資格ニ屬スル最高ノ座次ニ從フ

第五條 學階教階ヲ有スルモノハ左記ノ待遇ヲ爲ス

種別	待遇	
	學階	教階
權中僧正	勸學	一級
權少僧正	已講	二級
大僧都	得業	三級
權大僧都		補一級
權中僧都		補二級
權少僧都		

第六條 僧階學階教階ヲ有スル者ト雖モ香衣許可ヲ得サル者ハ香衣着用者ヨリ上座スルコトヲ得ス

第七條 左ノ各項ノ一ニ該當スル者ハ相當ノ禮遇ヲナス

- 一、總本山大本山前法主ハ現職法主ト同等ノ待遇ヲナス
- 一、檀林前住職ハ檀林現住職ト同一ノ待遇ヲナス
- 一、宗務ニ二十年以上從事シ顯著ナル功績アリト認メ功績詮考會ノ推薦ヲ經タルモノハ檀林現住職ト同一ノ待遇ヲナスコトヲ得
- 一、末刹寺院住職ニシテ老驅隱退者ハ當該寺院現住職ト同一ノ待遇ヲナス

### 第二十三 任職任免規則

#### 第一章 總 則

第一條 宗制第十四章第八十二條第八十三條ニ依リ本規則ヲ定ム

第二條 寺院住職ノ任免ハ別ニ定ムルモノノ外本規則ニヨル

第三條 左項ニ該當スル者ハ住職又ハ兼務住職ニ任スルコトヲ得ス

- 一、懲戒處分ヲ受ケ其ノ期間中ニアル者若ハ特免セラレサル者

#### 第二章 檀林檀林格地並准檀林住職

第四條 檀林檀林格地及准檀林住職ハ選舉ニ依リ管長之ヲ任ス

第五條 檀林住職ノ選舉ハ其ノ所屬末寺住職並當該檀林檀信徒總代及各教區長ヲ以テ選舉人トシ派内僧侶中權少僧正以上若ハ學階已講以上ノ者ヲ以テ被選舉人トス



第六條 檀林格地住職ハ其ノ所屬末寺住職並當該檀林格地檀信徒總代ヲ選舉人トシ派内僧侶中大僧都以上若ハ學階已講以上ノ者ヲ以テ被選舉人トス

第七條 准檀林住職ノ選舉ハ其ノ所屬末寺住職並當該准檀林檀信徒總代ヲ選舉人トシ派内僧侶中權大僧都以上(等級五等以下ノ准檀林ハ權中僧都以上)若ハ學階得業以上ノ者ヲ被選舉人トス

第八條 檀林檀林格地准檀林ノ住職選舉ニ關スル規定ハ管長候補者選舉規則第二條第五條乃至第二十三條ヲ準用ス 但シ第十三條ノ立會人ハ之ヲ指定セス

第九條 再選舉ノ場合ニ於テ當選者及次點者共ニ其ノ當選ヲ辭シタルトキ又ハ各選舉人投票ヲ爲サ、ル時ハ管長ハ之ヲ特選ス

### 第三章 准檀林格地以下一般寺院住職

第十條 准檀林格地以下一般寺院住職ハ其ノ寺格等級ニ依リ左記資格ノ教師中ニツキ之ヲ任命スルモノトス

寺格 及 等級	住職 資格
寺院等級二等以上	權中僧都以上
寺院等級六等以上	少僧都以上
准檀林格地若八十等以上	權少僧都以上
斑金格地若八十五等以上	擬講 以上
寺院等級十六等以下一般寺院	准擬講 以上

第十一條 特別ノ事由アル寺院ニ限リ寺院等級六等以上ハ權少僧都斑金格地若クハ十五等以上ハ准擬講以上又十六等以下寺格香衣地以下ノ一般寺院ハ擬講補ヲ以テ住職候補者ト爲シ得ルト雖第十條ニ定メタル教師資格ニ昇級セサル間ハ寺格若ハ等級相當ノ席ニ列シ寺格相當ノ法服ヲ着用スルコトヲ得ス

第十二條 准檀林格地以下一般寺院住職ハ其候補者ヲ現住職ヨリ推薦シ本寺、末寺アルモノハ末寺總代及法類總代檀信徒總代ノ贊同ヲ得テ申請スルモノトス



但シ現住職ナキトキハ前任住職前任職ナキトキハ法類總代ヲ推薦人トス

第十三條 准檀林格地以下一般寺院住職候補者ノ推薦ハ左ノ順位ニ依ル

一、徒 弟 (既ニ住職シタル者モ含ム)

二、法 類

三、其 他

第十四條 准檀林格地以下一般寺院住職申請ヲ爲ストキハ成規ノ願書ニ本人ノ履歷書ヲ添ヘ教務所ヲ經テ寺務所ニ出願スヘシ

第十五條 准檀林格地以下一般寺院住職ヲ缺キタル時ハ三ヶ月以内ニ住職候補者ヲ指定シ任命ヲ申請スヘシ若其ノ期限内ニ申請ヲナシ能ハサルトキハ事由ヲ具シ期限ヲ定メ延期ヲ願出ツヘシ尙其ノ期限又ハ第十八條ニ依リ指定シタル期限ヲ過キ任命ヲ請ハサルトキハ管長ハ直ニ第十三條ノ順位ニ依リ住職又ハ兼務住職ヲ特命スルコトヲ得

第十六條 准檀林格地以下一般寺院ニシテ正住職ヲ置キ難キ寺院ニ限リ前條ノ期限内ニ兼務住職ノ任命ヲ申請スルコトヲ得 但候補者選定方法及任命申請ハ正住職ニ同シ

兼務住職ノ任期ハ滿五年トス但特別ノ事由アリテ正當ト認メタルトキハ尙一回限り兼務住職ノ出願ヲ許可スルコトヲ得

兼務住職ニシテ本住職ヲ免セラレタル場合ハ當然其職ヲ失フ

第十七條 住職及兼務住職選定ニツキ關係者ノ間ニ異議ノ生シタルトキハ關係當事者ヨリ第十五條ノ期間内ニ管長ノ裁決ヲ申請スヘシ

第十八條 前條ノ申請ニ對シ管長ハ當該教區長ノ意見ヲ徵シ然後之ヲ裁決スルモノトス關係者ハ此ノ裁決ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ裁決ヲ爲ス時管長ハ之ト同時ニ住職申請ノ期限ヲモ指定スルモノトス

第十九條 住職缺員ノ場合ニ管長ニ於テ必要アリト認メタルトキハ本規則ニ依リ後任住職ノ定マルマテ一時寺務取扱ヲ命スルコトヲ得

寺務取扱ノ任期ハ六月以内トシ其ノ職務ハ寺有財産ノ管理及寺務ヲ處理スルモノトス

### 第四章 雜 則



第二十條 懲戒ニ依リ住職差免セラレタル者ハ住職候補者推薦ノ權ナキモノトス

第二十一條 事故ニ依リ住職及兼務住職退職セントスルトキハ書式ニ準シ教務所ヲ經テ寺務所ニ出願スヘシ

第二十二條 住職死亡シタルトキハ七日以内ニ法類總代ヨリ教務所ヲ經テ寺務所ニ届出ツヘシ

第二十三條 檀林以下一般寺院ノ住職義財ハ別ニ之ヲ定ム

第二十四條 寺院住職ニシテ信用ヲ失墜スル行爲アリ檀信徒多數ノ不歸依ノ具狀アルトキハ事實ヲ調査シ旨ヲ諭シテ住職ヲ辭任セシムルコトアルヘシ

第二十五條 住職任命セラレタルトキハ本人ヨリ其旨當該市町村役場ヘ届出ツヘシ

第二十六條 住職任免ニ關シ連署スヘキ末寺總代ハ從來定マレル末寺ノ住職中ニ就キ一名ヲ選定シ教務所ヲ經テ寺務所ニ届出ツヘシ其異動ノトキ亦同シ

## 第二十四 法類規則

第一條 宗制第十四章第八十六條ニ依リ本規則ヲ定ム

第二條 法類ハ三親等以内ノ僧籍關係ノ縁類者ヲ謂フ

前項法類ノ外ニ寺付法類中ノ近親者ヨリ七ヶ寺以内ノ法類ヲ定ムルモノトス

第一項ニ該當スル法類無キ者ハ身付法類トシテ契約ニ依リ五名以内ノ法類ヲ定ムルコトヲ得

第三條 僧籍關係ノ縁類ハ左表ニ依ル

一、一親等 師僧 徒弟

二、二親等 祖師僧 孫徒弟 法兄弟

三、三親等 民法親族例ニ準スル法脈上ノ三親等

第二條第二項第三項ニ依ル法類ハ契約法類トシテ僧籍法類ノ次ニ列記スヘシ

第四條 寺院住職ハ法類ノ氏名ヲ親等ノ次第ニ從ヒ及契約法類ヲ明記シ法類連署ヲ以テ所屬教務所ヲ經テ寺務所ニ届出ツヘシ其ノ異動ノトキ亦同シ

教務所及寺務所ハ之ヲ法類臺帳ニ登録ス

第五條 寺院住職ハ其ノ法類中ニ就キ法類總代一名ヲ推薦シ所屬教務所ヲ經テ寺務所ニ届出ツヘシ教務所及寺務所ハ之ヲ法類臺帳ニ登録ス



法類總代ノ任期ハ滿三年トス但シ滿期後三十日ヲ經過シ尙改選屆無キトキハ繼續シタルモノト見做ス法類總代ニシテ死亡若ハ其ノ他ノ事由ニ依リ異動ヲ生シタルトキハ速ニ所屬教務所ヲ經テ其ノ旨寺務所ニ届出ツヘシ

第六條 現任職カ法類總代ヲ任期中ニ改メントスルトキハ本人及前後法類總代ノ連署ヲ以テ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

前條ノ連署ヲ拒ム者アルトキハ其ノ事由ヲ具シ寺務所ノ指揮ヲ請フヘシ

第七條 契約法類及法類總代ハ一寺住職ノ者ニ限ル

停權又ハ免職以上ノ懲戒處分ヲ受ケタル者ハ法類總代ノ資格ヲ失フ

第八條 法類總代タル者其ノ法類ノ僧籍關係ヲ離レタルトキハ法類總代ノ資格ヲ失フ

第九條 法類總代ハ法類間ノ和衷親睦ニ曷メ法類カ住職セル寺院ノ寺務ニ關スル協議ニ參與シ制規ニ定ムル諸願書ニ連署スルモノトス

第十條 法類總代及法類ハ其ノ法類カ住職スル寺院ノ寺務若ハ住職者ノ進退等ニ就キ法類又ハ檀信徒ノ間ニ爭議ヲ生シタル場合ハ相互仲裁調停ノ義務ヲ盡スモノトス

第十一條 法類總代及法類ハ其ノ法類タル寺院住職カ死亡シタルトキハ其ノ徒弟等ニ對シ相當保護ノ途ヲ講スルモノトス但シ保護ノ方法ハ宗令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 師僧換入法類又ハ轉籍入法類セントスル場合ハ新舊師僧及前後法類總代ノ連署ヲ以テ教務所ヲ經テ寺務所ニ届出ツヘシ

### 第二十五 檀信徒取扱規則

第一條 宗制第五章第九十條ニ依リ本規則ヲ定ム

第二條 寺院ニハ必ス檀徒名簿信徒名簿ヲ備ヘ置クヘシ

第三條 新クニ寺院ノ檀徒又ハ信徒タランコトヲ求ムル者アルトキハ寺院住職ハ宗義並檀信徒ニ關スル宗規ヲ說示シテ之ヲ遵守スルノ承諾ヲ得タル後其ノ住所姓名ヲ名簿ニ記載スヘシ

第四條 寺院ニ於テハ法令ニ基キ檀徒總代又ハ信徒總代三名以上ヲ選定シ新舊總代及住職連署ヲ以テ市町村役場ニ届出テ並ニ教務所ヲ經テ寺務所ニ届出ツヘシ

第五條 檀徒總代又ハ信徒總代ハ何等ノ事由ヲ以テスルモ住職又ハ兼務住職ヲ置クコトヲ拒ムコト



ヲ得ス

第六條 檀徒又ハ信徒ニシテ左記各項ノ一ニ該當スル者アルトキハ寺院住職ハ管長ノ認可ヲ經テ檀徒名簿又ハ信徒名簿ヨリ削除スルコトヲ得

- 一、正當ノ理由ナク住職ノ職務ヲ妨害シ又ハ他ヲ教唆シテ妨害ヲ爲サシムル者
- 二、正當ノ理由ナク寺有財産ニ干涉シ不正ノ行爲ヲ爲ス者
- 三、懲戒セラレタル僧侶ヲ曲庇シ管長ノ命令ニ反抗スル者

第七條 寺院住職ハ檀徒名簿又ハ信徒名簿ヨリ削除セシ時ハ直ニ本人ニ通知スヘシ

前項ニ依ル者ハ當該寺院ノ檀徒又ハ信徒ニアラサル者トス

第八條 檀徒總代又ハ信徒總代タル者ハ住職ヨリ差出スヘキ規定ノ願書ニ連署スルモノトス  
總代ニ於テ其ノ調印ヲ拒ミタルトキハ其ノ事由ヲ明記シ差出スヘシ

## 第二十六 寺有財産保管規則

第一條 宗制第十六章第九十四條ニ依リ本規則ヲ定ム

第二條 寺有財産ヲ分テ左ノ四種トス

第一種 貴重ナル佛體佛具經卷古文書並ニ由緒アル物品及寶物

第二種 境内地並ニ境内地ニ在ル建物

第三種 境外地及境外地ニ在ル建物並ニ有價證券蓄積資金ノ類

第四種 第一種乃至第三種以外ノ物件

第三條 寺院ハ前條ノ區別ニ從ヒ寺有財産ノ種名、品質、數量、由緒等ヲ記載シタル寺有財産明細

帳三通ヲ調製シ教務所及寺務所ニ届出テ且其ノ寺院ニ一通ヲ備ヘ置クヘシ 但シ寺有財産明細

帳ハ其ノ住職及寺院(法類末寺)總代檀徒總代又ハ信徒總代連署シ教區長ノ奥印ヲ經ルヲ要ス

第四條 第一種ニ屬スル財産ハ如何ナル事由アルモ賣却、讓與、擔保品ト爲スコトヲ得ス

第五條 第二種第三種ニ屬スル財産ハ住職檀徒總代又ハ信徒總代ノ協議ヲ經テ管長ノ承認地方廳ノ許可ヲ得ルニアラサレハ處分スルコトヲ得ス

第六條 第四種ニ屬スル財産ハ平素其ノ保存ニ注意シ散逸セシムヘカラス

第七條 第四種ノ財産ト雖關係者ノ協議ニ依リ第一種乃至第三種ニ編入スルコトヲ得又管長ニ於テ



必要ト認ムルトキハ之カ編入ヲ命スルコトアルヘシ

第八條 第二種建造物ノ再建改築増築等ヲ爲サントスルトキハ其ノ設計方法經費收支豫算及圖面等相添ヘ關係者連署ノ上寺務所ニ出願シ管長ノ副申書ヲ得テ地方廳ノ許可ヲ受クヘシ

第九條 第三種ニ屬スル寺有財産ヨリ生スル毎年ノ收入ハ特ニ規定アルモノヲ除キ其ノ寺院ノ經常費トシテ之ヲ處分スルコトヲ得

第十條 寺有財産ニシテ成規ノ手續ヲ履行シ異動増減ヲ生シタル時ハ關係者連署ヲ以テ明細帳ニ記入又ハ訂正方ヲ寺務所ニ出願シ其ノ都度該寺院寺有財産明細帳ニ記入又ハ訂正ヲ爲スヘシ

第十一條 寺院境内地境外地ニシテ公共事業ノ爲メ收用セラレ若ハ賣却シタル場合ニ於ケル其ノ報償金又ハ賣却代金ハ總テ代地購入ノ資ニ充ツヘシ 但シ適當ノ代地無キトキハ第三種財産ニ編入スヘシ

第十二條 住職故意ヲ以テ寺有財産ヲ亡失又ハ破損シタルトキハ管長ハ之ヲ懲戒ニ處スル外尙其ノ賠償ヲ命スルコトアルヘシ

第十三條 住職交代ノ際ハ明細帳ニ連署スヘキ者及所屬教區長、住職ヲ選舉スヘキ寺院ニアリテハ

寺務所職員若ハ管長ノ指定シタル者立會ノ上明細帳ト物件トヲ點檢シ之ヲ前住職（住職死亡ノ場合ハ第三條ノ關係者）ヨリ後任住職ニ授受スヘシ其ノ授受ヲ終リタルトキハ前後住職及立會人連署ヲ以テ寺有財産授受證明書ヲ教務所ヲ經テ寺務所ニ差出スヘシ

第十四條 管長ハ寺有財産ノ保管上不都合アリト認ムルトキハ之カ保管方法ヲ當該關係者ニ命令シ又ハ寺務所職員ニ命シ之カ調査ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第十五條 寺有財産ニ關シ副申書ノ下附ヲ請フ者ハ一件ニ付別ニ定ムル手数料ヲ寺務所ニ納付スヘシ 但シ堂宇ノ新築改築修繕ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

### 第二十七 寺院等級及宗費賦課徵收規則

第一條 宗制第十七章第九十七條ニ依リ本規則ヲ定ム

第二條 總本山大本山ハ等級ヲ附セス

第三條 檀林以下一般寺院ノ等級ヲ三十二等ニ分ツ 但シ一般賦課金ノ負擔ニ堪ヘサル寺院ハ議會ノ協賛ヲ經テ特ニ等外ニ置キ賦課金ヲ免除スルコトアルヘシ



- 第四條 寺院ノ等級ハ四年毎ニ寺務所ノ調査ニ依リ議會ノ協賛ヲ經テ之ヲ定ム
- 第五條 寺院ノ盛衰ニ依リ等級ノ變更ヲ要スル場合ハ議會ノ協賛ヲ經テ改定ス
- 第六條 寺院ノ等級ニ對シ宗費ノ賦課率ヲ定ムルコト左ノ如シ

等級	口數	等級	口數	等級	口數
特一等	一千二百口	特二等	一千口	一等	七百三十七口
二等	六百二十二口	三等	五百五十八口	四等	四百九十九口
五等	四百四十一口	六等	三百八十九口	七等	三百五十口
八等	三百八口	九等	二百七十六口	十等	二百四十五口
十一等	二百十七口	十二等	百九十二口	十三等	百七十口
十四等	百五十口	十五等	百三十二口	十六等	百十六口
十七等	百〇一口	十八等	八十八口	十九等	七十八口
二十等	六十八口	廿一等	五十七口	廿二等	四十八口

第七條 寺院等級ハ左記各項ヲ參酌シ之ヲ定ム

- 一、由緒及堂宇諸建物ノ完否
- 二、檀徒信徒ノ多少
- 三、靈佛靈像ノ有無
- 四、寺有財産ノ多少
- 五、寺院現在ノ狀況
- 六、市郡町村ノ狀況

第八條 說教場教會所等ノ等級及賦課率ヲ定ムルコト左ノ如シ

廿三等	四十口	廿四等	三十三口	廿五等	二十七口
廿六等	二十二口	廿七等	十八口	廿八等	十五口
廿九等	十二口	三十等	十口		



等級	口數	等級	口數	等級	口數
特等	百口	一等	六十五口	二等	五十三口
三等	四十三口	四等	三十五口	五等	二十七口
六等	二十一口	七等	十五口	八等	十口
九等	七口	十等	五口		

第九條 宗費其ノ他議會ノ協贊ヲ經テ徵收スヘキ金額ハ本規則ニ依ル

第十條 宗費ハ之ヲ二分シ毎年四月十月ニ其ノ二分ノ一ツ、ヲ徵收スルモノトス

第十一條 宗費ノ賦課金ハ其ノ總額ヲ總口數ニテ除シタル金額ヲ一口トシ之ヲ賦課率ノ口數ニ乘シタルモノヲ各末利ノ負擔額トス

第十二條 宗費ノ賦課金ハ納金義務者以外ノ者ヨリ代納ヲナスコトヲ得

第十三條 期限ヲ定メタル徵收金ハ各徵收期毎ニ寺務所ニ於テ加入セル振替口座ニ拂込マシム

若シ指定ノ期限内ニ完納セザル場合ハ集金郵便ニ依リ之ヲ徵收ス

納金義務者ハ徵收期以前ニ於テ任意ノ方法ニ依リ當該金額ヲ寺務所ニ直納スルコトヲ得

第十四條 前條ノ徵收ニ應セサルモノアルトキハ寺務所ハ教區長ヲ經テ催告ヲ發スヘシ

第十五條 前條ノ催告ヲ受ケタルトキ納金義務者ハ十五日以内ニ納金ヲ了スヘシ尙應セサル者アルトキハ寺務所ハ之ヲ滯納者ト決定シ處分ノ手續ヲ爲スヘシ

第十六條 寺院住職ニシテ免職以上ノ懲戒ニ處セラレタル場合又ハ其ノ他ノ事故ニ依リ缺職トナリタルトキハ其ノ寺院ニカ、ル負擔義務ハ後任住職ニ於テ之ヲ繼承スヘシ

第十七條 納金義務者ニシテ本規則ヲ遵奉シ十年以上克ク其ノ義務ヲ盡シタル者ハ賞典規則ニ依リ相當ノ賞典ヲ行フコトアルヘシ

第十八條 僧籍編入其他諸願書ノ手数料及義財ヲ左ノ如ク定メ出願ト同時ニ納附セシム

住職義財ニ限リ其ノ十分ノ二ヲ本寺ニ下附スルモノトス

(一) 僧籍編入其他ノ義財及手数料

僧籍編入義財 金參 圓

法脈傳承義財 金五 圓



正傳法相承義財	金五圓
曼陀羅相承義財	金五圓
托鉢免許手數料	金壹圓
副申書手數料	金貳圓
僧籍訂正義財	金貳圓
僧籍復歸義財	金拾五圓
檢定受驗料	金五圓
轉籍義財	金參拾圓
各種證明手數料	金貳圓
(二) 僧階補任義財	金貳百圓
特別擬講補義財	金貳百圓
特別准擬講義財	金貳百圓
擬講權少僧部及少僧部義財	金五拾圓

權中僧部義財	金六拾圓
中僧部義財	金七拾圓
權大僧部義財	金八拾圓
大僧部義財	金百圓
權少僧正以上累進義財	金貳百圓
(三) 法服特許義財	
紅梅色義財	金參百圓
檀林相當法服義財	金百五拾圓
僧正以上ノ准檀林住職及藤色法衣許可者ノ檀林相當法服義財	金五拾圓
藤色法衣義財	金百圓
純金袈裟義財	金參拾圓
斑金袈裟義財	金五拾圓
香衣義財	金參拾圓



水色義財 金五拾圓  
(四) 寺格昇格義財

寺格	准檀林格地	斑金格地	香衣地	西堂地
義財金	金五百圓	金參百圓	金百圓	金五拾圓

(五) 住職義財

寺院	檀林及檀林格地	四等以上	准檀林五等以下及檀林格地若ハ	斑金格地若ハ十五等以上	十六等以下一般寺院
	檀林格地	檀林格地若ハ十等以上	檀林格地若ハ十等以上	檀林格地若ハ十五等以上	檀林格地若ハ十五等以上
義財金	一口ニ付金六拾錢	同上	同上	同上	同上

但シ兼務住職ハ半額トス

第十九條 納金ヲ怠リタル者ノ叙任其ノ他ノ諸願書ハ納金ノ義務ヲ果シタル後之ヲ處理ス但シ地方廳ニ諸願書ヲ提出スル爲メ管長ノ副申書ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

### 第二十八 賞典規則

第一條 宗制第三章第二十二條ニ依リ本規則ヲ定ム

第二條 賞典ハ功績詮考會ノ詮考ヲ經テ管長之ヲ行フ

第三條 賞典ヲ分チ左ノ六種トス

- 一、僧階昇進
- 二、法服授與
- 三、法服許可

四、法名院號授與居士號五、物品又ハ金員贈與 六、賞狀授與

第四條 教師中左記各項ノ一ニ該當スル者ハ功績詮考會ノ推薦ニ依リ僧階一級若ハ二級ヲ昇進セシメ若ハ法服ヲ授與シ又ハ法服ヲ許可スル事ヲ得 但シ法服中ノ袈裟ハ紋章若ハ賞典折五條トス

一、學術德行衆ニ超エ世ノ模範トナル者

二、派内ノ公職ニ從事シ顯著ナル功績アル者或ハ徒弟ノ教養ニ力ヲ致シタル者

三、本派ノ教育若ハ布教ニ從事シ卓絶セル功勞アル者

四、公利公益ヲ圖リタメニ宗門ノ光榮ヲ發揚セシ者



- 五、新寺ヲ創立シ永世維持ノ方法ヲ確立シタル者
- 六、開教地ニ於テ説教所ヲ創立シ若ハ開教上功勞顯著ナル者
- 七、教學資金ヲ献納セシ者
- 八、寺院堂宇ヲ新築若ハ改築シ成規ノ手續ヲ完了シタル者
- 九、年齢滿八十歳以上又ハ法臘滿六十年以上ニ達シ法務不怠ノ者
- 第五條 生前特殊ノ功績アリタル者ニハ相當ノ追賞ヲ行フコトヲ得
- 第六條 堂宇ヲ新築若ハ改築シタル寺院ニ對シテハ賞狀及別ニ定ムル規定ニ基キ金員ヲ下附ス
- 第七條 僧侶並ニ檀信徒中左記各項ノ一ニ該當スル者ハ法名物品又ハ賞狀ヲ授與スルコトヲ得
  - 一、寺院ヲ移轉シ維持方法ヲ完備セシ者
  - 二、永年寺門ヲ護持シ一般檀信徒ノ歸仰ヲ増進シタル者
  - 三、宗制宗規ヲ遵奉シ他ノ模範トナルヘキ者
  - 四、堂宇新築若ハ改築ニツキ特殊ノ功勞アル者
  - 五、淨財又ハ田園ヲ本山若ハ檀那寺ニ喜捨シタル者

- 六、忠孝貞節他ノ模範トナル者
- 七、學事又ハ布教上ニ特殊ノ功勞アル者
- 八、僧侶ニシテ軍籍ニ列シ特殊ノ功勞アル者若ハ現役ノ義務ヲ終リタル者
- 第八條 賞典ニ依ル法服ハ受賞者ノ外之ヲ着用スルコトヲ得ス
- 第九條 以上ノ條項中明文無キモ事ノ善行奇特ニシテ褒賞スヘキ者アルトキハ本則ニ準シテ表彰ス  
ヘシ

## 第二十九 托鉢免許規則

- 第一條 宗制第三章第二十七條ニ依リ本規則ヲ定ム
- 第二條 托鉢免許證票ノ下附ヲ出願セントスル者ハ書式ニ準シ別ニ定ムル規則ニ依ル義財ヲ添ヘ教務所ヲ經テ寺務所ニ出願スヘシ 但シ非住職ハ師僧ノ連署ヲ要ス
- 第三條 免許證票雛形左ノ如シ



第何號

表

○ 淨土宗西  
山深草派  
管長之印  
(烙印)

托鉢免許之證

裏

何府縣何市郡町村

○ 淨土宗西山  
深草派 何寺住職又ハ徒弟

職級 姓

名

何年何月何日免許

何年何月何日生

( 縦五寸 横二寸五分 )

第四條 免許證票ハ何時ニテモ警察官ノ檢閲ニ供スヘシ

第五條 托鉢修行時間ハ午前七時ヨリ同十一時マテトス 但シ往復ノ爲メ時間ノ遷延スルハ此ノ限ニ在ラス

第六條 托鉢修行者ハ施者ノ請アルニアラサレハ人家ニ接近シ猥リニ歩ヲ駐ムヘカラス 但シ施物ハ施者ノ意ニ任セ敢テ他物ヲ乞フコトヲ許サス

第七條 托鉢修行者ハ一列三人以上十人以下タルヘシ且公衆往來ノ便ヲ妨クヘカラス

第八條 托鉢修行者ハ威儀行相總テ宗門ノ風規ニ準シ僧儀ヲ亂スヘカラス

第九條 免許證票ハ他人ニ貸與スルコトヲ許サス

第十條 免許證票ハ番號ヲ以テ證左トス故ニ教師等級變更ノ爲メ書換ヲ爲スヲ要セス 但シ改名及住居寺院ニ異動アリタルトキハ免許證票ヲ添ヘ書換願書ヲ差出スヘシ

第十一條 免許證票ヲ遺失シタルトキハ其ノ旨ヲ詳記シ本則第二條ニ準シ更ニ免許證票下附ヲ出願スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ證票遺失ノ旨警視廳又ハ警察署ニ届出ツヘシ

第十二條 免許證票不用ノ節及遺失證票發見ノ際ハ其ノ旨届出該證票ヲ返上スヘシ 但シ本人死亡ノトキハ師僧又ハ法類ヨリ證票ヲ返上スヘシ

第十三條 本規則ニ違フ者ハ托鉢免許證票ヲ褫奪スヘシ

### 第三十 懲戒規則

#### 第一章 總 則

第一條 宗制第三章第二十三條ニ依リ本規則ヲ定ム



第二條 懲戒ハ管長ノ名ヲ以テ之ヲ行フ

### 第二章 戒 目

第三條 懲戒ヲ分テ左ノ五種トス

- 一、除籍 僧籍ヲ削除シ派内ヨリ擯斥ス
- 二、免職 住職ヲ罷免シ其ノ寺院ヲ退去セシム
- 三、降等 僧階學階又ハ教階ノ一等若ハ數等ヲ降ス
- 四、停權 三月以上三年以内ニ於テ僧侶諸般ノ選舉權被選舉權身分資格ニ相當スル法服及香衣被着ヲ停止ス
- 五、譴責 譴責狀ヲ交付ス

### 第三章 戒 種

第四條 左記各項ノ一ニ該當スル者ハ除籍ニ處ス

- 一、宗義ニ背キ異說ヲ唱フル者
- 二、濫ニ轉宗轉派分派ヲ企ツル者又ハ他ヲ教唆シテ同上ノ所爲ヲナサシムル者
- 三、宗制宗規ヲ遵守セス一派ノ秩序ヲ紊亂スル者
- 四、懲役以上ノ刑ニ處セラレタル者
- 第五條 左記各項ノ一ニ該當スル者ハ情狀ニ依リ免職又ハ除籍ニ處ス
  - 一、寺務所ノ説諭ニ抵抗シテ宗費及賦課金ヲ上納セス又ハ他ヲ教唆シテ同一ノ所爲ヲナサシムル者
  - 二、寺院住職ニシテ無斷出寺シテ三月以上歸寺セサル者又ハ六月以上故ナク赴任セサル者
  - 三、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

第六條 左記各項ノ一ニ該當スル者ハ情狀ニ依リ降等又ハ免職ニ處ス

- 一、規則ニ反シ寺有財産又ハ派内共有財産ヲ典賣シ若ハ消費シタル者
- 二、品行不良ニシテ檀信徒ノ歸依ヲ失ヒ又ハ寺院ノ荒廢ヲ招キタル者
- 三、非理ノ請願ヲ遂クルタメ徒黨ヲ結フ者



- 四、政黨ニ加盟シ又ハ濫ニ政事ヲ論議シ本分ニ背キタル者
- 五、正當ノ理由ナク管長ノ命令ニ背キ懇諭スルモ服セサル者
- 六、罰金刑ニ處セラレタル者

第七條 左記各項ノ一ニ該當スル者ハ情狀ニ依リ停權又ハ降等ニ處ス

- 一、宗費又ハ諸賦課金ヲ滯納シタル者
- 二、末寺住職ニシテ正當ノ理由ナク本寺ノ命ニ應セサル者
- 三、法服ヲ僭濫セシ者
- 四、教式ヲ亂セシ者
- 五、身分資格ヲ詐稱セシ者
- 六、正當ノ理由ナク寺務所又ハ教務所ノ召喚ニ應セサル者
- 七、他ノ寺院ニ於ケル檀信徒ヲ教唆シテ其ノ寺院住職ノ地位若ハ聲望ヲ毀損シタル者
- 八、他ノ住職進退ニ私意ヲ挟ミ故障ヲ爲ス者
- 九、住職選舉又ハ派内諸般ノ選舉ニ關シ不正ノ行爲アリタル者

十、越權ノ處置ヲ爲シタル者

第八條 左記各項ノ一ニ該當スル者ハ情狀ニ依リ譴責又ハ停權ニ處ス

- 一、怠慢ニ依リ火ヲ失シ寺有財産ヲ消失シタル者
  - 二、本末ノ間ニ於ケル慣例又ハ契約アル義務ヲ缺ク者
  - 三、拘留又ハ科料ニ處セラレタル者
  - 四、托鉢規則ニ背キタル者
  - 五、寺院堂宇ノ建物新築改築ノ變更及財産ノ異動ニ關シ制規ノ手續ヲ怠リタル者
- 第九條 第三條乃至第八條ニ明記無キ事項ト雖モ住職又ハ僧侶ノ本分ヲ失フ行爲アル者ハ情狀ニ依リ相當懲戒ス

### 第四章 戒 例

第十條 住職ニアラサル教師ニシテ免職ニ相當スル行爲アルトキハ降等ニ處ス

第十一條 西堂准西堂又ハ沙彌ニシテ免職停權等ニ該當スル所爲アルトキハ三年以内ニ於テ學資ノ



補助及就學ヲ停止スルモノトス

第十二條 左記各項ノ一ニ該當スル者ハ情狀ヲ酌量シ減戒スルコトヲ得

一、所爲未タ發覺セサル前ニ於テ自白懺悔セシ者

二、年齢七十歳以上十五歳以下ノ者

三、違規ノ情狀愍諒スヘキ者

四、刑ノ執行ヲ猶豫セラレタル者 但シ刑ノ執行猶豫ヲ取消サレタルトキハ更ニ原罪ニ依リ處分ス

第十三條 二犯以上俱發ノ者ハ重キニ從ヒ之ヲ處分ス

### 第五章 處分手續

第十四條 懲戒ニ處スヘキ所爲アル者ヲ發見シタルトキハ執事長ハ證憑ヲ審査シ意見ヲ附シ管長ノ

裁可ヲ請フヘキモノトス

第十五條 懲戒處分ヲ決定シタルトキハ教區長ヲ經テ懲戒狀ヲ本人ニ交付ス 但シ本人ノ所在不明

ニシテ交付シ難キトキハ之ヲ法類總代又ハ法類ニ交付ス

第十六條 教區長ハ懲戒狀ヲ交付シタル月日手續ヲ詳記シ寺務所ニ報告スヘシ

第十七條 刑事上ノ處罰又ハ行政處分ヲ受ケタルニ依リ事犯ノ判明シタル者ハ第十四條ニ關セス直ニ之ヲ懲戒スルコトアルヘシ

### 第三十一 懲戒赦免規則

第一條 宗制第三章第二十四條ニ依リ本規則ヲ定ム

第二條 懲戒ノ赦免ハ本規則ニ依リ之ヲ行フ

第三條 赦免ヲ分テ特免免除ノ二種トス

第四條 特免ハ左記ノ一ニ該當スル場合ニ管長之ヲ行フ

一、恩赦ヲ行ハセラレタルトキ

二、本派ニ於テ重大ナル慶弔アルトキ

第五條 特免ハ宗令ヲ以テ特免スヘキ事犯ヲ定メ之ヲ行フ



第六條 特免セラレタル者ニ對シテハ懲戒ノ申渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第七條 降等又ハ除籍ノ懲戒ヲ申渡サレタル者ニシテ特免セラレタルトキハ直ニ其ノ資格分限ヲ回復スルモノトス 但シ教師以上ノ除籍者ニ對シテハ擬講補トス

第八條 免職ノ懲戒ニ處セラレタル者ニシテ特免又ハ免除セラレタル者ハ寺院住職ニ任スルコトヲ得

第九條 懲戒處分ヲ受ケ左記ノ期間ヲ經過シタル者ニシテ改悛ノ狀顯レタルトキハ其ノ懲戒ヲ免除ス

- 一、除籍 七年
- 二、免職 三年
- 三、降等 二年

第十條 降等以上ノ申渡ヲ受ケ前條期間ノ半ヲ經過シタル者ニシテ改悛ノ實蹟最モ顯著ナルトキハ其ノ懲戒ヲ減戒スルコトヲ得 但シ其ノ行爲全ク宗門ノ爲メニ出テ情狀愍量スヘキモノハ前項ニ拘ハラズ懲戒ヲ免除スルコトアルハシ

第十一條 停權ノ申渡ヲ受ケ期間ノ半ヲ經過シタル者ニシテ改悛ノ實アルトキハ免除スルコトヲ得

第十二條 降等以上ノ懲戒ヲ申渡サレタル者ニシテ免除セラレタルトキハ制規ノ手續ヲ經テ原等級ニ復スルモノトス

第十三條 國法ヲ犯シタルニ依リ懲戒ヲ申渡サレタル者ニシテ其ノ未タ復權セサル者ニ對シテハ特免又ハ免除ヲ行ハス

### 第三十二 會計規則

第一條 宗制第十七章第九十七條ニ依リ本規則ヲ定ム

第二條 會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第三條 毎會計年度ノ歳入歳出ニ關スル事務ハ五月末日迄ニ完結シ決算ハ參事會ノ検査ヲ經テ議會ニ提出スルモノトス

第四條 寺務所一切ノ收納ヲ歳入トシ一切ノ經費ヲ歳出トシテ豫算ヲ編成ス

第五條 收支豫算ハ寺務所ヨリ案ヲ具シテ議會ニ提出スヘシ

第六條 豫算ハ年度及歳入歳出ノ各款項目ヲ區分シ之ヲ編成ス



第七條 歲出豫算中豫備費ヲ置キ避クヘカラサル豫算ノ不足又ハ豫算外ノ支出ニ充ツルモノトス  
 第八條 支出ハ豫算ノ科目ニ照査シ之ヲ施行ス 但シ參事會ノ決議ヲ經テ歲出各項目ノ流用ヲナス  
 コトヲ得

第九條 決算ノ結果剩餘金ヲ生シタルトキハ次年度ニ繰越スヘシ

第十條 議會ニ於テ收支豫算ノ決議ヲ爲サ、ル場合ハ前年度ノ豫算ニ依ル

第十一條 豫算外ノ支出ヲ要スル場合ニ於テ豫備費ニ不足ヲ生シタルトキハ參事會ノ協贊ヲ經テ施行ス

第十二條 前條ノ支出ニ對シテハ之ヲ次期ノ議會ニ提出シ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第十三條 管長ハ必要ヲ認メタルトキハ議會ノ協贊ヲ經テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

特別會計規則ハ宗令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 特別會計ノ收支決算ハ參事會ノ檢査ヲ經テ議會ニ提出スルモノトス

### 第三十三 普通教習所規則

第一條 普通教習所ハ派内僧侶ニシテ中學卒業生ノ爲メニ宗餘乘ヲ教授シ法式ヲ實修セシムルヲ以テ目的トス

第二條 普通教習所ハ宗學研究所内若クハ大本山内ニ之ヲ置キ夏季六十日間之ヲ開キ二期ヲ以テ終了トス

第三條 普通教習所學科ハ左ノ如シ

科目	級	第一期	第二期
宗乘	三	經大意	二 選擇集
餘乘	佛	教史	二 佛教概論及宗教學
法式	法式實修	一	一

第四條 普通教習所ハ開期ノ終リニ於テ教授學科ニ就テ試験ヲ行フ其ノ合格者ニ對シテ所長ハ合格證明書ヲ與フ

第五條 普通教習所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長 一名



講師 若干名  
幹事 一名  
所長及幹事ハ宗學研究所長及幹事ノ兼任トス

### 第三十四 寺院住職後任候補者登録規則

第二條 准檀林格地以下一般寺院住職ハ本規則ニ依リ豫メ住職ノ後任候補者ヲ選定シ其ノ登録ヲ申請スル事ヲ得

第二條 後任候補者ハ本派僧侶中左記各項ニ該當スルモノニシテ住職任免規則第三條ニ該當セサルモノタルヘシ

- 一、寺院等級六等以上ハ准擬講以上
- 二、寺院等級七等以下ハ擬講補以上

第三條 住職後任候補者ノ選定ハ住職任免規則第十三條ノ順位ニ依リ辭退者ノ連署ヲ要ス

第四條 住職ニシテ後任候補者ヲ登録スル場合ニハ左記關係者ノ贊同ヲ得ルヲ要ス

- 一、法類總代、末寺總代、檀信徒總代、本寺住職、

第五條 住職ニシテ後任候補者ノ登録ヲ申請スル時ハ第一號書式ノ申請書及本人ノ履歷書相添ヘ寺務所ニ差出スヘシ

後任候補者ニシテ他人ノ徒弟ナル時ハ申請書ニ其ノ師僧、師僧ヲ喪ヒタル時ハ最近親法類寺院住職ノ連署ヲ要ス

第六條 寺務所ハ前條ノ申請ヲ受理シ支拂ナシト認メタル時ハ之ヲ臺帳ニ登録シ第二號書式ノ登録證ヲ交附ス

第七條 前條ニ依リ登録セラレタル者ニシテ懲戒規則第三條ノ降等以上ノ懲戒ニ處セラレタル時ハ後任候補者タルノ資格消滅ス

第八條 住職ニシテ後任候補者ノ登録ヲ得タル後事故又ハ事情ニ依リ之ヲ取消シ又ハ更正シ若クハ登録替ヲ爲サントスル時ハ其ノ事由ヲ詳記シタル申請書ヲ調製シ第四條ノ關係者連署ヲ以テ寺務所ニ差出スヘシ此ノ場合ハ第六條ニ依リ交附セラレタル登録證ヲ添附スルヲ要ス

寺務所ハ前項ノ申請書ヲ受理シ事由正當ト認ムル時ハ登録簿ヲ取消シ又ハ更正シ若クハ登録替ノ場合ハ改メテ登録證ヲ交附ス



第九條 後任候補者トシテ登録セラレタル者新ニ他ノ寺院ニ住職シ又ハ轉住スルト雖モ前條ニ依リ其ノ登録ノ取消ヲ得サレハ當該寺院住職後任候補者タルノ資格消滅セス

第十條 後任候補者トシテ登録セラレタル者ハ其ノ登録ノ取消ヲ得サレハ更ニ他ノ寺院ノ住職後任候補者トシテ登録セラル、コトヲ得ス

第十一條 後任候補者ノ登録ヲ得タル後當該寺院住職カ其ノ職ヲ辭セントスル時ハ其ノ候補者ヲ後任者トシ第三號書式ノ住職交代申請書ニ登録證ノ寫ヲ添ヘ寺務所ヘ差出スヘシ

前項ノ場合其ノ後任候補者ニシテ當該寺院住職タルノ資格ヲ具備セサルトキハ住職ハ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス

第十二條 住職カ急ニ他ノ寺院ニ轉住シ又ハ死亡シタルトキハ左ノ各項ノ定ムル所ニ依ル

一、後任候補者ニシテ當該寺院住職タルノ資格具備セル時ハ直ニ住職任命辭令書ヲ交附ス

二、前項ノ資格一時具備セサルトキハ其ノ資格具備スルマテ住職任命規則第十九條ニ依リ法類總代又ハ法類寺院住職ニ寺務取扱ヲ命スルモノトス

三、前項ノ場合ニ其ノ資格具備スルニ至リタル時ハ直ニ住職任命辭令書ヲ交附ス

四、後任候補者ニシテ其ノ資格ヲ具備スルニ數年ヲ要スル場合ハ住職任命規則ニ依リ兼務住職ヲ申請スヘキモノトス 但シ此ノ兼務住職ハ特ニ後任候補者ヲ擁護シテ其ノ資格ヲ具備セシムルノ義務ヲ有ス

前項第一第三項ノ場合ハ第四號書式ニ依リ當該本人ヨリ履歷書及登録證ノ寫ヲ添附シテ住職任命辭令書ノ交附ヲ申請スヘシ

第十三條 後任候補者トシテノ登録ヲ取消ス場合ハ第四條關係者ノ連署ヲ得テ理由書相添ヘ申請スルモノトス

住職死亡後後任候補者ニシテ辭退シタル時ハ住職任命規則第十二條ニ依リ申請スヘシ

第十四條 第五條ニ依リ後任候補者ノ登録ヲ申請スルトキ又ハ第八條ニ依リ其ノ登録替ヲ申請スルトキハ住職義財ノ四分ノ一ヲ申請書ト共ニ納付スヘシ

第十五條 第十一條ニ依リ住職ノ交代ヲ申請シ第十二條ニ依リ住職任命辭令書ノ交附ヲ申請スルトキノ義財ハ一般住職任命願ノ例ニ同シ

第十六條 本規則ニ依リ寺務所ニ申請スル時ハ總テ管轄教務所ヲ經由スヘシ



書式第一號

住職後任候補者登録申請

何縣郡村何寺住職徒弟  
 何 之 誰  
 右ノ者本職後任候補者トシテ登録被成下度寺院住職後任候補者登録規則ニ依リ別紙本人履歷書及成規ノ義財金相添ヘ此段連署ヲ以テ申請候也

何縣郡村准檀林格地何寺住職

年 月 日

申請人 何 之 誰 印

本人、法類總代、末寺總代、檀信徒總代 本 寺 印

何縣郡村何寺住職

本人師僧又ハ法類 何 之 誰 印

管 長 殿

書式第二號

登 録 證

第何號

何寺住職 何誰徒弟

何 之 誰

右寺院住職後任候補者登録規則ニ依リ何縣何郡何村何寺住職何誰ノ後任候補者トシテ登録ス

年 月 日

寺 務 所

書式第三號

住職交代申請書

拙僧儀老衰ニ及ヒ辭職仕度依テ後任ハ既ニ住職後任候補者トシテ登録ヲ得タル何誰ヘ御任命被成下度本人履歷書登録證寫及成規ノ義財相添ヘ此段連署ヲ以テ申請候也

何府縣郡村准檀林格地何寺住職



年 月 日 申請人 何ノ誰印  
 右登録者 何ノ誰印  
 管 長 殿

書式第四號

住職任命辭令交附申請書

何縣郡村何寺住職又ハ徒弟

何寺住職何誰後任候補者

何ノ誰

右拙僧儀何寺住職何誰後任候補者トシテ登録ヲ得候處住職何誰年月日死亡又ハ何縣何郡何村何寺へ  
 轉住致シ候ニ付拙僧へ後任住職任命辭令御交附被成下度別紙履歷書登録證寫及義財相添へ此段申請  
 候也

何縣郡町村准檀林格地何寺

年 月 日 住職何誰後任候補者  
 管 長 殿 申請人 何ノ誰印

第三十五 教會所規則

第一條 本派教會所ハ本派ノ教義信條ヲ宣布シ兩祖ノ遺訓ヲ發揚スルヲ以テ目的トス

第二條 本派教會所ハ北海道臺灣其ノ他特殊ノ規定アル開教地ヲ除キ各府縣中本派寺院ノ分布稀薄  
 ノ箇所其ノ他特ニ必要ト認メタル地方ニシテ信徒三十人以上アル場合便宜設立スルコトヲ得

第三條 教會所ノ設立ヲ左ノ二種ニ區分ス

- 一、寺院附屬教會所
- 二、獨立教會所

第四條 前條ノ教會所ハ何レモ淨土宗西山深草派何々教會所ト稱ス

第五條 寺院附屬教會所ハ地方寺院ニ於テ必要ト認メタル箇所ニ之ヲ設置ス



第六條 獨立教會所ハ教師ニ於テ信徒ノ歸依ヲ得之ヲ設置ス

第七條 獨立教會所ヲ設置セムトスルトキハ附近ニ於ケル既設寺院教會所ノ同意ヲ求メ出願ノ際必ス其ノ同意書ヲ添附スヘシ

第八條 教會所ノ設置其ノ他ニ關シテハ大正十二年文部省令第三十二號神佛道教會規則及所轄地方廳ノ規定ニ從ヒ手續ヲ爲スヘシ

第九條 教會所擔任教師ハ第一條ノ趣旨ヲ體シテ其ノ所屬信徒ノ教化ニ從事スヘシ

第十條 教會所々屬信徒ハ本派ノ教義信條ニ依リ信念ヲ培養シ社會風教ノ模範タルコトヲ期スヘシ

第十一條 教會所擔任教師ハ一月一日ヨリ同年十二月末日迄ニ於ケル狀況報告書ヲ作製シ毎年一月末日迄ニ教務所ヲ經由シ寺務所ヘ届出ツヘシ

第十二條 寺務所ハ新設教會所ニ對シ必要ト認ムル場合一時ニ若シクハ相當ノ期間中其ノ設立ノ費用ヲ補助スルコトアルヘシ

前項補助ニ關スル規定ハ宗令ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第十三條 本法施行前法令ノ規定ニ從ヒ設置シタル説教場ハ本法ニ依リ設置シタル教會所ト看做ス

# 宗 令



# 宗 令

大正十二年 宗令第二號

末利一般

宗制第三章第十九條ニ依リ大本山内事部規程ヲ設ケ茲ニ之ヲ公布ス

大正十二年八月十日

淨土宗西山深草派管長

加 藤

觀

海

## 大本山内事部規定

第一條 大本山圓福寺ニ關スル寺務ヲ處理セシムル爲メ大本山内事部ヲ設ケ部長一名録事二名ヲ置キ大本山法主ヲ補佐シ寺務ニ從事セシム

第二條 部長及録事ノ資格任期並選任方法ハ大本山法主之レヲ定メ管長ノ認可ヲ受クヘシ

第三條 部長及録事ハ大本山法主ノ具狀ニ依リ管長之レヲ任免ス



大正十二年 宗令第三號

末利一般

宗規第五教務所規則第十二條ニ依リ教區會議員選舉規則ヲ定メ茲ニ之ヲ公布ス

大正十二年八月十五日

淨土宗西山深草派管長 加藤 觀海

### 教區會議員選舉規則

第一條 教區會議員ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス

各選舉區ニ於テ選舉スヘキ議員ノ數ハ教區長之ヲ定メ寺務所ニ届出ツヘシ 但シ一教區ニ於ケル議員ノ定員ハ五名以上七名以内トシ任期ハ滿四年一ス

第二條 教區會議員ノ選舉人並被選舉人ハ其選舉區ニ屬スル寺院ノ正住職トス

第三條 選舉權及被選舉權ノ制限ニ關シテハ宗規第八議會議員選舉規則第六條第七條ヲ準用ス

第四條 教區會議員ノ選舉ヲ行フ時ハ教區長ニ於テ其ノ選舉期日ヲ定メ選舉期日十五日以前ニ之ヲ

區内ニ告示スルモノトス

第五條 選舉會場ハ教區ノ教務所トシ選舉長ハ教區長之ニ當ル

第六條 選舉ハ單記記名投票ヲ以テ之ヲ行ヒ一人一票ニ限ル選舉投票書式其他選舉會等ニ關シテハ

宗規第八議會議員選舉規則第十四條乃至第三十條ヲ準用ス 但シ投票用紙ハ別ニ配布セス半紙四ツ切トス

第七條 選舉長ハ當選人ノ承諾ヲ得タルトキハ寺務所ニ届出ツヘシ寺務所ハ執事長ノ名ニ依リ當選狀ヲ交附スヘシ

第八條 選舉事務ニ關シテ異議アル場合及補缺選舉ニ關シテハ宗規第八議會議員選舉規則第三十三條乃至第三十六條ヲ準用ス

大正十二年 宗令第四號

末利一般

宗規第三寺務所規則第十三條ニ依リ寺務所執務規定ヲ定メ茲ニ之ヲ公布ス

大正十二年八月十五日

淨土宗西山深草派管長 加藤 觀海



### 寺務所執務規定

第一條 寺務所職員ハ總テ本規定ニ依リ所管ノ事務ヲ分掌スヘシ

第二條 寺務所ノ事務ヲ配分スルコト左ノ如シ

一、法務部 二、教務部 三、監正部

第三條 法務部長ハ總本山及宗義法式等ニ關スル左ノ事務ヲ掌リ總本山ヲ代表シ其ノ責ニ任ス  
但シ山内事務取扱ニ關シテハ別ニ之ヲ定メ管長ノ認可ヲ經テ執行ス

一、總本山諸法要ニ關スル事項

二、總本山堂宇營繕ニ關スル事項

三、總本山寶物什器資産保存ニ關スル事項

四、總本山會計出納ニ關スル事項

五、宗義審判ニ關スル事項

六、寺檀紛争及和解等ニ關スル事項

七、管長晋山退山及葬儀ニ關スル事項

八、宗勢調査ニ關スル事項

九、寺院興廢ニ關スル事項

一〇、法式及法式統一ニ關スル事項

一一、法服許可ニ關スル事項

一二、宗意相承ニ關スル事項

第四條 教務部長ハ教學課會計課ヲ掌リ左ノ事務ヲ處理シ併テ布教教育ニ従事スル職員ヲ指揮監督ス

#### 教學課

一、御親教ニ關スル事項

二、巡教師派遣ニ關スル事項

三、特殊布教ニ關スル事項

四、文書傳道ニ關スル事項



- 五、布教師養成ニ關スル事項
  - 六、各種講習會ニ關スル事項
  - 七、布教師任免ニ關スル事項
  - 八、民衆教化社會事業ニ關スル事項
  - 九、僧階教階補任ニ關スル事項
  - 一〇、學階授與ニ關スル事項
  - 一一、教師檢定ニ關スル事項
  - 一二、學事及留學生ニ關スル事項
  - 一三、重要文書ノ査閲起草及公文書ノ發受保管ニ關スル事項
- 會計課
- 一四、豫算ノ編成及決算ニ關スル事項
  - 一五、金錢出納ニ關スル事項
  - 一六、宗費及諸賦課金諸義財金徵收ニ關スル事項

- 一七、會計監査ニ關スル事項
- 一八、寺院等級査定ニ關スル事項

第五條 監正部長ハ監正課庶務課ヲ掌リ左ノ事務ヲ處理シ地方職員ヲ指揮監督ス

監正課

- 一、賞典及請願ニ關スル事項
- 二、懲戒及風紀ニ關スル事項
- 三、選舉事務ニ關スル事項
- 四、僧籍及改名ニ關スル事項
- 五、法脈傳承ニ關スル事項
- 六、托鉢免許ニ關スル事項
- 七、住職任免ニ關スル事項
- 八、寺務管理者ノ任免ニ關スル事項

庶務課



- 九、管長事務狀況報告ニ關スル事項
- 一〇、役員任免ニ關スル事項
- 一一、宗令訓示宗告發布ニ關スル事項
- 一二、議會ニ關スル事項
- 一三、諸官衙並他宗派ノ交渉ニ關スル事項
- 一四、統計ニ關スル事項
- 一五、年中行事表作製ニ關スル事項
- 一六、記録ニ關スル事項
- 一七、僧籍臺帳及其ノ整理ニ關スル事項
- 一八、寺院明細帳ニ關スル事項
- 一九、寺院佛堂教會所説教場ニ關スル事項
- 二〇、寺有財産管理ニ關スル事項
- 二一、寺格昇降ニ關スル事項

- 二二、寺籍臺帳ニ關スル事項
- 二三、法類及法類總代ニ關スル事項
- 二四、檀信徒總代ニ關スル事項
- 二五、教區事務及教區職員進退ニ關スル事項
- 二六、副申書下附ニ關スル事項
- 二七、物品ノ調度及備品保管ニ關スル事項
- 二八、他部ニ屬セサル事項

第六條 各部事務執行順序ヲ左ノ通り定ム

- 一、受理
  - 二、主管者書類ヲ精査シ責任印ヲ押捺ス
  - 三、他部主管者ニ廻議シテ同意ヲ求メ之ヲ執事長ニ提出ス
  - 四、執事長ハ之ヲ査閲捺印ノ上管長ニ提出シ其ノ決裁ヲ得テ執行ス
- 第七條 執事長ハ寺務所ノ首班トシテ一派ノ事務ヲ總理シ其ノ責ニ任ス



第八條 執事長ハ寺務所ノ印章ヲ保管ス

第九條 執事長ハ管長ノ委任ニ依リ事務分掌ヲ命ス

各部ニ明記無キ新事務ハ執事長其ノ所管ヲ定ム 但シ監正ニ關スル事務ハ管長ニ直屬シ執事長之ヲ管掌ス

第十條 執事長ハ臨時事務發生ノ場合寺務所職員ニ就キ部署ヲ定メテ用掛ヲ命スルコトヲ得

第十一條 財務參與ハ財務ニ關スル事務ヲ統一シ一派ノ財政ヲ保護監督スルモノトス

第十二條 執事ハ各部ノ部長トナリ部内ノ事務ヲ處理ス

第十三條 執事ハ所管事務執行ニ關シテ其ノ責ニ任ス

第十四條 執事長ハ必要ノ場合ハ書記ニ一部事務ノ分擔主在ヲ命スルコトアルヘシ

第十五條 書記ハ長上ノ命ヲ受ケ庶務ニ従事ス

第十六條 財務參與ハ毎月第二月曜寺務所ニ於テ開會スル寺務所會ニ出席シ意見ヲ開陳スルコトヲ得

第十七條 寺務所會ハ毎月第二月曜ヲ以テ定期日トス 但シ必要ノ場合ハ臨時開會スルコトアル

ヘシ

第十八條 寺務所會ハ執事財務參與ヲ以テ組織シ重要事項ヲ協議ス

第十九條 寺務所職員ハ寺務ノ機密ヲ漏洩スヘカラス

第二十條 各部ノ事務ハ總テ慎重ニ取扱ヒ而モ敏活公平ニ處理スルヲ以テ要トスヘシ又各部ハ事務ノ繁閑ニ依テ互融スヘシ

第二十一條 寺務所職員ノ執務時間ヲ定ムルコト左ノ如シ 但シ日曜大祭祝日及御忌西山忌派祖忌

ハ休業トス

第一期 自三月一日 午前八時ヨリ午後四時マテ

第二期 自七月十一日 午前八時ヨリ正午マテ

第三期 自九月十一日 午前八時ヨリ午後四時マテ

第四期 自十一月一日 午前九時ヨリ午後五時マテ

第二十二條 寺務所職員ハ順次交代ヲ以テ宿直ヲ定メ防火ニツキテハ本堂部及庫裡部主任ト共ニ細心ノ注意ヲ爲スヘシ



第二十三條 寺務所備付ノ帳簿及器具ハ常ニ之ヲ整頓シ且重要書類ハ所定ノ場所ニ保管スヘシ

大正十二年 宗令第六號

末利一般

宗規第十六教育規則第九條ニ依リ各種講習會規則ヲ定メ之ヲ公布シ即日實施ス

大正十二年十月十日

淨土宗西山深草派管長 加藤 觀海

### 一、教學講習會規則

第一條 本會ハ教師ヲシテ宗義ヲ研究シ品性ヲ修養シ社會ノ思想ニ適應シ教學ニ途ヲ振興セシムルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ大本山内ニ之ヲ置ク

第三條 本會ハ毎年十日間之ヲ開ク

第四條 本會ノ科目ヲ左ノ如ク定ム

- 一、宗乘
- 二、餘乘

### 三、辯術 四、參考科 (社會教化等)

第五條 本會ノ會員ヲ左ノ二種トス

- 一、正會員 教師以上ノ者
- 二、准會員 教師補及僧階補任規則第五條該當者

第六條 會員ニシテ會期中缺席無ク聽講シタル者ニ講習證書ヲ授與ス

第七條 講習證書ヲ有スル正會員ハ本人ノ申請ニヨリ功績詮考會ニ於テ五枚ヲ以テ功績點五十點ヲ付與ス

其ノ端數ハ一枚ニツキ七點ヲ録ス

第八條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク

- |    |    |     |     |
|----|----|-----|-----|
| 會長 | 一名 | 講師  | 若干名 |
| 理事 | 一名 | 準備員 | 若干名 |
- 會長ハ大本山法主ヲ推薦シ理事一名ハ寺務所ヨリ任命ス

第九條 本會ニ關スル經費ハ宗費ヲ以テ支辨ス



但シ會員ノ食費及宿泊料ハ各自ノ自辨トス

### 二、特殊講習會規則

第一條 本會ハ教化事業感化救濟事業社會事業其ノ他宗教家ニ必要ナル特種ノ學術技藝ヲ講習セシムルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ毎年一回七日以上之ヲ開ク期日及場所ハ隨時之ヲ告示ス

第三條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク

會長 一名 講師 若干名 幹事 一名

第四條 入會者ハ准擬講以上ノ者トス

但シ出願ニ依リ擬講補ノ者ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第五條 本會ニ五回以上缺席無ク聽講シ學技ノ進達ヲ見ル者ハ功績詮考會ノ推薦ヲ經テ教階一級ヲ進ムルコトヲ得

第六條 本會ノ經費ハ宗費ヲ以テ支辨ス 但シ會員ノ食費及宿泊料ハ各自ノ自辨トス

大正十二年 宗令第七號

末利一般

宗規第十六教育規則第十條ニ依リ獎學規則ヲ定メ茲ニ之ヲ公布シ即日實施ス

大正十二年十月十日

淨土宗西山深草派管長 加藤 觀海

### 獎學規則

第一條 本派僧侶ノ教育ヲ獎勵シ人物ヲ養成センカ爲メ中學以上ノ學校在學者ニ對シテハ獎學補助金ヲ支給ス

第二條 補助金ノ標準年額ヲ左ノ如ク定ム獎學補助金給與額

學 籍	年額給與金	備 考
各 中 學 在 學 者 聖峯中學ヲ除ク	金貳拾五圓	聖峯中學在學者ニシテ禪林宗學院在學ヲ兼ヌル者ハ更ニ金拾五圓ヲ増ス
各專門學校及高等學校在學者 (西山專門學校ヲ除ク)	金五拾圓	
大 學 在 學 者	金七拾圓	
選 拔 生	金五拾圓	



第三條 宗學研究所在學者及尼衆教習所在學者ニハ相當ノ補助ヲ爲スモノトス其ノ金額ハ隨時寺務所ノ認定ニ依リ定ム

宗外ノ特殊ノ講習會ニ於ケル聽講希望者及學術研究ノ爲メ視察旅行ヲ爲ス者ニ補助スルコトアルヘシ

第四條 宗學ノ奧義ヲ永續的ニ研究スル者ノ爲メ特ニ選拔生ノ規定ヲ置ク

但シ人員ハ三名以內トス

第五條 中學在學者ニシテ獎學金ノ補助ヲ受ケムト欲スル者ハ規定ノ書式ニ依リ當該學校長ノ在學證明書ヲ添ヘ寺務所ニ届出ツヘシ

第六條 給與金ノ交付ハ毎年一回トス在學生前學年間ノ出席及成績表並學校長ノ證明書ヲ添ヘ給與ヲ出願スヘシ

第七條 品行方正學術優等者ハ其ノ給與額ノ半額以內ヲ加賞スルコトアルヘシ

第八條 落第者及授業時數ノ三分ノ一以上ノ缺席者ニハ支給セス 但シ病氣其他止ムヲ得サル事故ニ依ルモノハ情ヲ具シテ寺務所ノ承認ヲ受クヘシ

第九條 同一學年ニ於テ二回落第シタル者ハ理由ノ何タルヲ問ハス支給ヲ停止ス

第十條 専門學校以上ノ被給與者ハ給與年限以上本派ノ教學事務ニ従事スヘキ義務ヲ負フモノトス

第十一條 正當ノ理由無ク前條ノ義務ニ服セサル者ハ既給金ノ一部若ハ全部ヲ償還セシム

第十二條 西山専門學校ヲ除クノ外専門學校以上ノ在學者ハ文學科在學者ニ限ル

但シ他學科ノ在學者ニシテ支給ヲ受ケント欲スルモノハ特別ニ寺務所ノ承認ヲ受クヘシ

第十三條 専門學校以上ノ在學者ニシテ他ニ職ヲ兼ネ補助金以上ノ収入ヲ有スル者ハ補助ヲ停止スルコトアルヘシ

第十四條 第二條ノ給與額ハ宗派ノ豫算ノ關係及物價ノ高低ニ依リ増減スルコトアルヘシ

大正十二年 宗令第八號

末利一般

宗制第三章第十九條及議會ノ協賛ヲ經テ功績詮考會規則ヲ定メ之ヲ公布シ即日實施ス

大正十二年十月十日

淨土宗西山深草派管長 加藤 觀海



功績詮考會規則

- 第一條 本派僧侶ノ功績ハ功績詮考會ヲシテ調査シ詮考セシムルモノトス
- 第二條 功績調査ノ事項ハ宗規及宗令ノ定ムル所ニ依ル
- 第三條 本會ノ委員ヲ七名トシ左ノ方法ヲ以テ選出ス
  - 一、議會議員ノ互選ニ依ル者 二名
  - 二、教區長ヲ選舉人トシ一般寺院住職中ヨリ選出スル者 一名
  - 三、教育ニ従事スル教師中ヨリ管長特選スル者 一名
  - 四、布教ニ従事スル教師中ヨリ管長特選スル者 一名
  - 五、執事長、法務部長
- 第四條 前條各委員ハ名譽職トシ管長之ヲ任免ス
- 第五條 委員ノ任期ハ四年トシ補缺員ハ前任者ノ殘期トス
- 第六條 本會ノ事務ヲ處理スル爲幹事一名ヲ置キ教務部長ヲ以テ之ニ充ツ幹事ハ決議ノ數ニ加ルコトヲ得ス

トヲ得ス

- 第七條 本會ハ執事長ヲ以テ議長トス執事長事故アルトキハ法務部長之ヲ代理ス
- 第八條 本會ハ毎年一回管長期日ヲ定メテ召集ス
  - 但シ必要アルトキハ臨時開會スルコトアルヘシ
- 第九條 本會ハ委員半數以上出席スルニアラサレハ開會スルコトヲ得ス
- 第十條 本會ニ必要ナル規定ハ別ニ之ヲ定ム

大正十二年 宗令第十號

末利一般

宗制第三章第十九條ニ依リ御忌會出勤規則ヲ定メ之ヲ公布シ即日實施ス

大正十二年十月十日

淨土宗西山深草派管長 加藤 觀海

御忌會出勤規則

- 第一條 本派寺院住職ハ元祖大師ノ高德ヲ讃仰シ末徒タル本分ヲ全フスル爲メ毎年御忌會ニハ各教



區ヨリ左ノ區別ニ依リ登山シ法要ニ出勤スヘシ出勤者ハ朝、夕勤行用トシテ黒衣如法衣ヲモ持  
參スルモノトス

- 一、總本山
  - 一、第一教區……………全部
  - 二、第二教區乃至第十二教區……………各區……………一名宛
- 二、大本山
  - 一、第一、第十二教區……………各區……………二名宛
  - 二、第二、第三教區……………各區……………一名宛
  - 三、第四教區乃至第十一教區……………各區……………三名宛
  - 四、愛知縣下直末准檀林以上……………全部
  - 五、寺務所職員……………一名

第二條 登山出勤者ノ資格ハ一箇寺住職及香衣許以上ノ者ニ限ル

第三條 登山者ハ必ス日中法要及日沒晨朝法要ニ上堂スルモノトス

第四條 各教區長ハ登山者ヲ決定シ兩本山出勤者ヲ區別シ三月末日限り寺務所ニ届出ツヘシ

第五條 前條出勤者ニシテ萬一缺勤者アル場合ハ手當ヲ支給セサルハ勿論相當ノ香料ヲ徴收スルモ

ノトス

大正十二年 宗令第十一號

末利一般

左記ノ通り職員議員俸給旅費支給規則相定メ候條茲ニ之ヲ公布シ即日實施ス

大正十二年十月十日

淨土宗西山深草派管長 加藤 觀海

### 職員議員俸給旅費支給規則

第一條 本派職員議員其他給與ヲ受クヘキ者ハ總テ本規則ニ依ル

第二條 給與ハ月給及日給ノ二トシ毎月二十八日受給者ノ請求ニヨリ之ヲ支給ス

第三條 新任ノ者ニシテ其ノ月十五日以前ニ就職シタルトキハ月給ノ全額ヲ支給シ十六日以後ニ就職シタルトキハ月給ノ半額ヲ支給ス

第四條 前條ノ職員退職又ハ死亡ノ時ハ日數ニ拘ハラス當月分ノ全額ヲ給與シ特ニ功勞アル者ハ勤續年限及其ノ功績ヲ勘査シ相當ノ慰勞ヲ給與スルコトアルヘシ



第五條 病氣又ハ私事ニヨリ執務セサルコト一ヶ月ノ内ニ於テ累計十五日ヲ踰ユル者ハ月給ノ二分ノ一ヲ減ス 但シ特殊ノ功勞アル者ニシテ重病ニ罹リ執務セサル者ニ對シテハ缺勤日數ニ關セテ寺務所會ノ評決ニヨリ三ヶ月以内ニ限り特ニ月給ノ全額ヲ給與スル事アルヘシ

第六條 職員議員ノ旅費ハ左ノ標準ニ依リ支給ス

一、法主代理 顧問 執事長 研究所長 會議議員 特命布教師 功績詮考會員

汽車二等 汽船一等 陸路一里五拾錢

二、前項以外ノ職員及ヒ教師

汽車三等 汽船二等 陸路一里參拾錢

但シ布教師ノ陸路旅費ハ汽車汽船乗降場ヨリ最初ノ寺院迄及最終ノ寺院ヨリ乗降場迄ノ距離トス

第七條 議會ノ會期中ノ宿泊中餐ハ寺務所ニ於テ支辨ス

第八條 職員ノ月給額及議員布教師ノ日當手當ハ隨時之ヲ定ム

第九條 日當ハ登山ノ日ニ起算シ退山ノ日ニ終ル汽車汽船行程半日以上ヲ要スル者ニハ旅費ノ外ニ

旅行手當トシテ金壹圓ヲ支給ス

第十條 他府縣ヨリ就任スル職員ノ宿泊滞在費ハ寺務所ニ於テ支辨シ其ノ就職及退職ノ際ハ所定ノ旅費ヲ給與シ在任中ハ特別手當トシテ毎月京都驛ヨリ自坊所在地最近驛間ニ於ケル一回往復ノ實費ヲ支給ス

第十一條 職員以外ニ於テ臨時事務ヲ囑托スル場合ハ寺務所會ノ評決ヲ經テ日當支給ノ標準ヲ定ムルモノトス

大正十二年 宗令第十二號

末般一利

宗規第六議會規則第七條ニ依リ議事細則ヲ定メ茲ニ之ヲ公布シ即日實施ス

大正十二年十一月一日

淨土宗西山深草派管長 加藤 觀海

## 議事細則

### 第一章 總則



第一條 本派議會ハ議會規則及本細則ニ依リテ議場ヲ整理ス

第二章 議席ト議場トノ秩序

第二條 議員ノ席次ハ抽籤ニ依テ之ヲ定ム

第三條 議場ノ開閉ハ擊柝ヲ以テ報ス

第四條 會議中ハ各自互ニ敬意ヲ表シ談笑等ヲ以テ議場ノ秩序ヲ亂サ、ル様深ク注意スヘシ

第三章 議事日程

第五條 議長ハ議事日程ヲ定メ議員ニ配付通告シ又ハ議場ニ揭示スヘシ

第六條 議事日程ハ議員三名以上ノ請求アルトキハ議場ニ問ヒ之カ順序ヲ變更スルコトヲ得

但シ此ノ場合ニハ寺務所ノ同意ヲ經ルコトヲ要ス

第七條 會議ハ午前八時ニ開キ午後五時ニ散會ス

但シ議長ノ意見又ハ寺務所ノ請求ニヨリ時限ヲ伸縮スルコトヲ得

第八條 寺務所提出ノ議案ハ委員ノ審査ニ付セスシテ廢棄スルコトヲ得ス

第九條 議員提出ノ議案ハ簡明ナル理由ヲ付シ規定ノ賛成者ト共ニ連署スルコトヲ要ス

第十條 寺務所提出ノ議案ハ寺務所ノ意見ニヨリ何時タリトモ之ヲ撤回シ之ヲ修正スルコトヲ得

第十一條 議員ノ提出ノ議案ニシテ議會ノ採用ヲ得タルモノハ議會ノ承諾ナク之ヲ廢棄シ修正シ撤回スルコトヲ得ス

第四章 讀會ト動議

第十二條 議案ハ總テ三讀會ノ順序ヲ經ルニアラサレハ確定議トナスコトヲ得ス

第十三條 第一讀會ニ於テハ議長ヨリ議案ヲ議員ニ紹介シ書記ヲシテ議案全體ヲ朗讀セシメ次テ提出者ヨリ議題ノ要領ヲ説明シ議員ノ質問ニ答ヘ議長ニ於テ質問終結ト認ムルトキハ議長ヨリ第二讀會ヲ開クヘキヤ否ヤヲ議場ニ問ヒ可決シタル時ハ第二讀會ニ移スヘシ

第十四條 第一讀會ノ終リニ於テ該議案ヲ委員ニ附托セス又第二讀會ニ移ス可ラスト決シタルトキハ其ノ議案ハ廢棄セラレタルモノトス

第十五條 第二讀會ニ於テハ逐條審議スヘシ

第十六條 第二讀會ニ於テハ修正ノ動議ヲ提出スルコトヲ得

第十七條 動議ハ總テ三名以上ノ賛成者ヲ待テ議題トナス



第十八條 數多ノ動議ニ對スル議事ノ前後ハ議長之ヲ定メ若クハ特ニ委員ヲシテ適宜ノ修正案ヲ作ラシメ更ニ會議ニ附スルモノトス

第十九條 逐條審議終結ト認ムルトキハ議長ハ同案ノ第三讀會ヲ開クヘキヤ否ヤヲ議場ニ問ヒ可決シタルトキハ第三讀會ニ移スヘシ

第二十條 第三讀會ニ於テハ議案ノ總體ニ就テ可否ヲ決スヘシ

第二十一條 第三讀會ニ於テハ文字ヲ更正スルノ外議案ノ旨趣ヲ修正スヘキ動議ヲ提出スルコトヲ得ス 但シ抵觸スル事項ヲ修正スルノ發議ハ此ノ限リニアラス

第二十二條 議案ハ第一讀會ト第二讀會トノ間ニ於テ委員ニ附托スルコトヲ得

第二十三條 修正ハ議案ノ一部ヲ加除シ又ハ分割シ或ハ併合スルヲ得ルモ原案ノ精神ヲ變更セサル程度ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第二十四條 修正ニシテ凡テ否決セラレタルトキハ原案ニ就キ採決スヘシ

### 第五章 討論ト表決

第二十五條 議員ノ發言ハ凡テ番號ニヨリ議長ノ許可ヲ得起立シテ之ヲ爲スヘシ

第二十六條 數人ノ同時ニ起立シテ發言ヲ求ムルトキハ議長ノ認定ヲ以テ前後ヲ定ム

第二十七條 議題ニ關係ナキ演說ヲ續ケ又同事ヲ反覆シ冗長ニ涉ルトキハ議長ハ議員ノ發言ヲ中止スルコトヲ得

第二十八條 議題ノ討論ヲ結了シタルトキハ議長ハ表決ヲ宣告スヘシ

第二十九條 表決ノ明示ハ起立ニ依リテ決ス自己ノ表決ヲ更正スルコトヲ得ス

### 第六章 委員選舉及委員會

第三十條 議會ハ成立ノ日直ニ左ノ委員ヲ選舉スヘシ

豫算委員

決算委員

請願委員

懲罰委員

第三十一條 委員ハ一會期中其ノ任ニ就キ事件審査ニ從事ス

第三十二條 委員中ヨリ五選ヲ以テ委員長一名ヲ置クヘシ



第三十三條 委員會ハ議會ノ議事ニ差支ナキ時間ヲ以テ開設スヘシ

第三十四條 寺務所役員及議長ハ何時タリトモ委員會ニ出席シテ意見ヲ述フルコトヲ得

第三十五條 委員長ハ審査ヲ終リタルトキハ其ノ經過ヲ議會ニ報告スヘシ

第七章 議員請暇

第三十六條 議員ニシテ止ムヲ得ス缺席セントスルモノハ其ノ理由ヲ具シタル缺席届ヲ差出シ議長ノ許可ヲ受クヘシ

第三十七條 議員ノ缺席ヲ許可シタルトキハ議長ハ議會ニ報告スヘシ

第八章 議事録ト決議録

第三十八條 議事録ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一、議會ノ成立及開會、閉會ニ關スル事項ト其ノ年月日
- 一、開會、延會、中止及散會ノ日時
- 一、寺務所職員出席者姓名
- 一、議員缺席者姓名

一、議長及委員長ノ報告

一、討論セル議案ノ題目

一、議事ノ要領

一、議題トナリタル動議及發議者ノ姓名

一、確定議ノ要旨

一、其ノ他必要ナル事項

第三十九條 決議録ニハ左ノ事項ヲ記ス

一、確定議ノ正文

第四十條 決議録ハ議會ノ委托ヲ受ケタル議員三名、正副議長、執事長、執事署名捺印スヘシ

大正十五年宗令第二號

末利一般

宗制第十九條ニ依リ法類規則實施細則ヲ定メ茲ニ之ヲ公布シ即日實施ス

大正十五年三月二十三日

淨土宗西山深草派管長 岩 瀬 覺 榮



### 法類規則實施細則

- 第一條 法類規則第二條僧籍關係ノ縁類者ヲ身付法類ト謂フ
- 第二條 法類規則第二條第二項ノ契約法類ヲ寺付法類ト謂フ
- 第三條 契約法類ノ選定ハ當該寺院ノ最モ法系近親ナル寺院ヲ先トシ順次五ヶ寺以内ヲ選定シ相互調印ノ上届出ルモノトス
- 第四條 寺付法類、身付法類共ニナキ寺院ト雖モ五ヶ寺以内ノ法類ヲ選定シテ届出ルモノトス  
前項法類ノ選定ハ住職ノ任意トス此ノ場合ハ特ニ「法類規則第二條第三項契約法類」トシテ届出ルモノトス
- 第五條 法類規則第二條第一項第三項ノ法類ヨリ選定セル法類總代ノ任期中當該寺院住職ニシテ轉住退住又ハ死亡ノ場合ト雖モ後任住職任命ニ至ルマテ其資格ヲ有スルモノトス  
無住トナリタル後未タ後任住職ノ任命ニ至ラサル以前ニ任期滿限ニ達スルト雖モ住職ノ任命ニ至ルマテハ其ノ資格ヲ存続セシム

第六條 無住中法類總代ニシテ死亡若クハ其他ノ事由ニ依リ缺職トナリタル場合ハ法類中ノ首座ヲ以テ後任住職任命ニ至ルマテ臨時法類總代ト看做ス

第七條 法類規則第二條第二項ノ法類ヨリ選定セラレタル法類總代ハ選定セル住職ノ交代ニ依リテ其ノ資格ヲ失ハス 但シ連署交代出願ノ場合ハ此ノ限ニアラス

第八條 法類ノ届出ハ正住職ニ限ルモノトス

第九條 法類ノ届出以前ニ住職ノ死亡又ハ法類届ヲナス能ハサル爲メ法類總代ナキ場合ハ當該教區長其ノ任ニ當リ第何教區長何寺住職トシ連署スルモノトス

昭和十年宗令第一號

末利一般

宗制第三章第十九條及議會ノ協賛ヲ經テ審議會規則並議事規則ヲ定メ茲ニ之ヲ公布シ即日施行ス  
昭和十一年一月二十日

淨土宗西山深草派管長 鈴木諦教

### 審議會規則



第一條 審議會ハ執事長ノ諮詢ニ應シテ宗制宗規ノ改廢變更ニ關スル事項財政整理ニ關スル事項及其ノ他執事長ニ於テ必要ト認メタル事項ニツキ調査審議ス

第二條 審議會ハ十名以上二十名以内ノ會員ヲ以テ組織ス

會員中ヨリ會長一名常任委員五名以上七名以内ヲ選任ス

會長ハ審議會ノ議長ヲ兼任ス

第三條 會員及會長常任委員ハ執事長ノ推薦ニヨリ管長之ヲ任命ス

第四條 會長ハ會務ヲ統理シ會議ノ議決ヲ執事長ニ具申ス

會長事故アルトキハ會長ノ指名若クハ互選ニヨリテ職務ノ代行者ヲ定ム

第五條 本派顧問及財務參與ハ審議會ニ出席シ會員トシテ意見ヲ陳述シ且可否ノ數ニ加ハルコトヲ得

第六條 執事長ハ必要ニヨリ又ハ審議會ノ要求アルトキハ寺務所員其他適當ト認ムル者ヲシテ會議ニ出席シ意見ヲ陳述セシムルコトヲ得

第七條 審議會ノ議事ニ關スル規則ハ別ニ之ヲ定ム

第八條 執事長ハ緊急其ノ他必要ト認ムルトキハ審議會ニ代ヘテ常任委員會ニ諮詢スルコトヲ得此

ノ場合ニ於テハ會長ハ其ノ議決事項ヲ會員ニ報スルモノトス

第九條 常任委員會ニ付テハ本規則ヲ準用ス

第十條 審議會ニ幹事ヲ置ク會長之ヲ任免ス幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第十一條 審議會ニ書記ヲ置ク會長之ヲ任免ス書記ハ上司ノ命ヲ承ケ庶務ニ従事ス

### 議 事 規 則

第一條 審議會規則第七條ニヨリ本規則ヲ定ム

第二條 會議ハ執事長ノ要求ニヨリ會長之ヲ招集ス

第三條 會議ハ會員半數以上出席スルニアラサレハ開クコトヲ得ス會員豫メ文書ヲ以テ審議事項ニ付賛意ヲ表明シタルトキハ出席シタルモノト看做ス

第四條 議事ハ出席會員ノ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ會長ノ決スル處ニヨル

第五條 執事長ハ審議期間ヲ限定スルコトヲ得



審議會カ前項ノ期間ヲ徒過シタルトキハ審議事項ヲ可決シタルモノト看做ス

昭和十一年九月一日印刷  
昭和十一年九月十五日發行

京都市中京區新京極櫻之町

總本山誓願寺

發行所 淨土宗西山深草派寺務所

電話本局(2)九五八番  
振替大阪二四四四〇番

京都市寺町通三條上ル

印刷所 文榮堂印刷部



終

